（様式第10）

浜医大医第4号

令和　5 年　10 月　4 日

厚生労働大臣　殿

開設者名　国立大学法人浜松医科大学
学長　今 野　弘 之

浜松医科大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和　年度の業務に関して報告します。

1　開設者の住所及び氏名

住所	〒431-3192　静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号
氏名	国立大学法人浜松医科大学　学長　今野弘之

（注）　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名称

浜松医科大学医学部附属病院

3　所在の場所

〒431-3192　静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号
電話（ 053 ） 435 ー 2111

4　診療科名

4－1　標榜する診療科名の区分

○	1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注）　上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2　標榜している診療科名

(1)内科

内科						有	
内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科		2消化器内科		3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							

（注）　1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

（2）外科

外科	有

外科と組み合わせた診療科名							
	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							

（注）　1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

（3）その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

（注）　標榜している診療科名に○印を付けること。

（4）歯科

歯科	有

歯科と組み合わせた診療科名					
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科
歯科の診療体制					

（注）　1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

（5）（1）～（4）以外でその他に標榜している診療科名

1	循環器科	2	神経科	3	心臓血管外科	4	リハビリテーション科	5	形成外科
6	病理診断科	7	小児外科	8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

（注）　標榜している診療科名について記入すること。

5　病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
37	0	0	0	576	613

（単位：床）

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	404	100	432.7
歯科医師	11	1	11.2
薬剤師	34	0	34
保健師	0	0.41	0.4
助産師	33	4	35.9
看護師	764	41	793.9
准看護師	2	4	5
歯科衛生士	3	0	3
管理栄養士	12	3	14.3

職種	員数
看護補助者	41
理学療法士	20
作業療法士	10
視能訓練士	4
義肢装具士	0
臨床工学士	25
栄養士	0
歯科技工士	0
診療放射線技師	45

職種		員数
診療エックス線技師		0
臨床検査	臨床検査技師	73
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師		0
医療社会事業従事者		8
その他の技術員		63
事務職員		183
その他の職員		16

（注）　1　報告書を提出する年度の10月１日現在の員数を記入すること。
2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

専門医名	人数（人）	専門医名	人数（人）
総合内科専門医	63	眼科専門医	8
外科専門医	39	耳鼻咽喉科専門医	13
精神科専門医	10	放射線科専門医	18
小児科専門医	29	脳神経外科専門医	10
皮膚科専門医	8	整形外科専門医	20
泌尿器科専門医	7	麻酔科専門医	27
産婦人科専門医	21	救急科専門医	3
		合計	276

（注）　1　報告書を提出する年度の10月１日現在の員数を記入すること。
2　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名　（　松山 幸弘　　任命年月日　令和　4　年　4　月　1 日

・平成26年4月1日から平成28年3月31日まで　医療安全管理室長（ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ担当副病院長）
・平成28年4月1日から平成30年3月31日まで　医療安全管理委員会委員長（病院長）
・令和2年4月1日より医療安全管理委員会委員長（病院長）に就任
・令和4年4月1日より医療安全管理委員会委員長（病院長）に再任

9　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	489.5　人	6.4　人	495.9　人
1日当たり平均外来患者数	1344.4　人	64.1　人	1485.8　人
1日当たり平均調剤数	452.3　剤		
必要医師数	132.3　人		
必要歯科医師数	5　人		
必要薬剤師数	17　人		
必要（准）看護師数	298　人		

（注）　1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2　入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3　外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4　調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	254.2 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数	12 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	［固定式の場合］	床面積	316.5 ㎡	病床数	24 床	
	［移動式の場合］	台数	2 台			
医薬品情報管理室	［専用室の場合］	床面積	21 ㎡			
	［共用室の場合］	共用する室名				
化学検査室	413.17 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	（主な設備）	生化学・免疫全自動分析装置・全自動血液検査システム		
細菌検査室	174.7 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	（主な設備）	自動細菌同定感受性装置・自動血液培養装置		
病理検査室	177.1 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	（主な設備）	自動固定包理装置・パラフィン包理ブロック作成装置・ミクロトーム		
病理解剖室	46 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	（主な設備）	排水滅菌システム・固定液作成装置・解剖台		
研究室	541.3 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	（主な設備）	臨床情報検索データベースシステム		
講義室	195 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員	100 人
図書室	61.2 ㎡	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	6200 冊程度

（注）　1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	100.9 %	逆紹介率	60.5 %
算出根拠	A：紹介患者の数	13,906	人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,163	人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	3,059	人
	D：初診の患者の数	16,807	人

（注）　1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3　A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
小島 崇宏	大阪Ａ＆Ｍ法律事務所	○	医療に係る安全管理に関する識見を有するもの	無	1
桑原 允嗣	静岡県立高等学校元副校長		医療を受ける者	無	2
大磯 義一郎	国立大学法人浜松医科大学		法律に関する見識を有するもの	有	1

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 浜松医科大学医学部附属病院ホームページにて公表 https://www.hama-med.ac.jp/hos/about-us/iryouannzennkansa.html	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1　承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先　進　医　療　の　種　類	取扱患者数（人）
先進医療の種類の合計数	0
取扱い患者数の合計（人）	0

（注）1　「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2　「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
先進医療の種類の合計数	1
取扱い患者数の合計（人）	0

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

（注）1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

その他の高度医療の種類の合計数	0
取扱い患者数の合計（人）	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	56	ベーチェット病	40
2	筋萎縮性側索硬化症	12	57	特発性拡張型心筋症	45
3	脊髄性筋萎縮症	3	58	肥大型心筋症	25
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	7	60	再生不良性貧血	20
6	パーキンソン病	151	61	自己免疫性溶血性貧血	4
7	大脳皮質基底核変性症	3	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	28
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	5
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	5
11	重症筋無力症	44	66	IgA 腎症	50
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	27
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	49	68	黄色靭帯骨化症	10
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	16	69	後縦靭帯骨化症	99
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クロウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	65
17	多系統萎縮症	16	72	下垂体性ADH分泌異常症	13
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	35	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	3	74	下垂体性PRL分泌亢進症	24
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	16
21	ミトコンドリア病	4	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	12	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	47
23	プリオン病	2	78	下垂体前葉機能低下症	141
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	24	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	79
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	95
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	15
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	25
34	神経線維腫症	19	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	20	90	網膜色素変性症	20
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬（汎発型）	12	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	19
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	6
40	高安動脈炎	14	95	自己免疫性肝炎	11
41	巨細胞性動脈炎	11	96	クローン病	199
42	結節性多発動脈炎	13	97	潰瘍性大腸炎	214
43	顕微鏡的多発血管炎	23	98	好酸球性消化管疾患	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	17	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	9	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	2	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	4	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	6	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	177	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	109	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	64	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	21	107	若年性特発性関節炎 旧病名（全身型若年性特発性関節炎）	0
53	シェーグレン症候群	22	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	15	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	0
	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
111	先天性ミオパチー	3	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	0
113	筋ジストロフィー	6	163	特発性後天性全身性無汗症	5
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜症	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名（有馬症候群）	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR－X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	1	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	1	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	3	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0
	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
211	左心低形成症候群	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	274	骨形成不全症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
215	ファロー四徴症	0	276	軟骨無形成症	3
216	両大血管右室起始症	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
217	エプスタイン病	0	278	巨大リンパ管奇形（頚部顔面病変）	0
218	アルポート症候群	1	279	巨大静脈奇形（頚部口腔咽頭びまん性病変）	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	280	巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）	1
220	急速進行性糸球体腎炎	1	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
222	一次性ネフローゼ症候群	26	283	後天性赤芽球癆	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

224	紫斑病性腎炎	7	285	ファンコニ貧血	0
225	先天性腎性尿崩症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	2	287	エプスタイン症候群	0
227	オスラー病	3	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
228	閉塞性細気管支炎	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
230	肺胞低換気症候群	0	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0
231	α1－アンチトリプシン欠乏症	0	292	総排泄腔外反症	0
232	カーニー複合	0	293	総排泄腔遺残	0
233	ウォルフラム症候群	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
235	副甲状腺機能低下症	1	296	胆道閉鎖症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	297	アラジール症候群	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	298	遺伝性膵炎	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	299	嚢胞性線維症	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	300	IgG4関連疾患	8
240	フェニルケトン尿症	0	301	黄斑ジストロフィー	0
241	高チロシン血症1型	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
242	高チロシン血症2型	0	303	アッシャー症候群	0
243	高チロシン血症3型	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
244	メープルシロップ尿症	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
245	プロピオン酸血症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	26
246	メチルマロン酸血症	0	307	カナバン病	0
247	イソ吉草酸血症	0	308	進行性白質脳症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	309	進行性ミオクローヌスてんかん	0
249	グルタル酸血症1型	0	310	先天異常症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
251	尿素サイクル異常症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
254	ポルフィリン症	0	315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	316	カルニチン回路異常症	0
256	筋型糖原病	0	317	三頭酵素欠損症	0
257	肝型糖原病	0	318	シトリン欠損症	0
258	ガラクトースー１－リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0
260	シトステロール血症	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
261	タンジール病	0	322	β―ケトチオラーゼ欠損症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	323	芳香族L－アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
263	脳腱黄色腫症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
264	無βリポタンパク血症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
265	脂肪萎縮症	0	326	大理石骨病	0
266	家族性地中海熱	1	327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0
267	高IgD症候群	0	328	前眼部形成異常	0
268	中條・西村症候群	0	329	無虹彩症	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症 旧病名（先天性気管狭窄症）	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	9
271	強直性脊椎炎	2	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
			334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低βリポタンパク血症1（ホモ接合体）	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	105
合計患者数（人）	2444

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5　届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・呼吸ケアチーム加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・後発医薬品使用体制加算1
・特定機能病院入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算1
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算
・診療録管理体制加算1	・入退院支援加算
・医師事務作業補助体制加算2	・認知症ケア加算
・急性期看護補助体制加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・看護職員夜間配置加算	・精神疾患診療体制加算
・看護補助加算	・精神科急性期医師配置加算
・療養環境加算	・地域医療体制確保加算
・重症者等療養環境特別加算	・特定集中治療室管理料2
・無菌治療室管理加算1	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・無菌治療室管理加算2	・新生児特定集中治療室管理料1
・放射線治療病室管理加算（治療用放射性同位元素による場合）	・新生児治療回復室入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・小児入院医療管理料2
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6　届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・開放型病院共同指導料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・がん治療連携計画策定料
・糖尿病合併症管理料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・薬剤管理指導料
・がん患者指導管理料イ	・地域連携診療計画加算
・がん患者指導管理料ロ	・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
・がん患者指導管理料ハ	・医療機器安全管理料1
・がん患者指導管理料ニ	・医療機器安全管理料2
・外来緩和ケア管理料	・医療機器安全管理料（歯科）
・移植後患者指導管理料（臓器移植後）	・歯科治療時医療管理料
・移植後患者指導管理料（造血幹細胞移植後）	・在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料
・糖尿病透析予防指導管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定
・婦人科特定疾患治療管理料	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
・腎代替療法指導管理料	・遺伝学的検査
・一般不妊治療管理料	・染色体検査の注2に規定する基準
・生殖補助医療管理料1	・骨髄微小残存病変量測定
・下肢創傷処置管理料	・BRCA1／2遺伝子検査
・院内トリアージ実施料	・がんゲノムプロファイリング検査
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算	・先天性代謝異常症検査
・外来放射線照射診療料	・抗アデノ随伴ウイルス9型（AAV9）抗体
・外来腫瘍化学療法診療料1	・抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）
・連携充実加算	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
・ニコチン依存症管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6　届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・検体検査管理加算（Ⅳ）	・心臓MRI撮影加算
・国際標準検査管理加算	・乳房MRI撮影加算
・遺伝カウンセリング加算	・頭部MRI撮影加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・肝エラストグラフィ加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・外来化学療法加算1
・胎児心エコー法	・無菌製剤処理料
・ヘッドアップティルト試験	・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
・人工膵臓検査、人工膵臓療法	・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
・長期継続頭蓋内脳波検査	・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
・神経学的検査	・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
・補聴器適合検査	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2
・全視野精密網膜電図	・がん患者リハビリテーション料
・ロービジョン検査判断料	・リンパ浮腫複合的治療料
・コンタクトレンズ検査料1	・集団コミュニケーション療法料
・小児食物アレルギー負荷検査	・歯科口腔リハビリテーション料2
・内服・点滴誘発試験	・児童思春期精神科専門管理加算
・CT透視下気管支鏡検査加算	・認知療法・認知行動療法1
・経気管支凍結生検法	・精神科作業療法
・画像診断管理加算1	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・画像診断管理加算3	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・ポジトロン断層撮影	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）
・CT撮影及びMRI撮影	・多血小板血漿処置
・冠動脈CT撮影加算	・エタノールの局所注入（甲状腺）
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・エタノールの局所注入（副甲状腺）

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・人工腎臓	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・手術用顕微鏡加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）
・CAD／CAM冠及びCAD／CAMインレー	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）
・センチネルリンパ節加算	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
・皮膚移植術（死体）	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
・組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）	・乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。）））	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・椎間板内酵素注入療法	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・腫瘍脊椎骨全摘術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、等
・羊膜移植術	・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・胸腔鏡下弁形成術
・緑内障手術（緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	・胸腔鏡下弁置換術
・緑内障手術（濾過胞再建術（needle法））	・経カテーテル弁置換術（経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術）
・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	・経皮的僧帽弁クリップ術
・植込型骨導補聴器（直接振動型）植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・不整脈手術左心耳閉鎖術（胸腔鏡下によるもの）
・耳管用補綴材挿入術	・不整脈手術左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型（拡大副鼻腔手術）及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うもの）	・磁気ナビゲーション加算

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・経皮的中隔心筋焼灼術	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）	・腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）	・同種死体腎移植術
・植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極抜去術	・生体腎移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）	・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）
・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・補助人工心臓	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）	・精巣内精子採取術
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））	・腹腔鏡下仙骨膣固定術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））	・腹腔鏡下腟式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）	・体外式膜型人工肺管理料
・体外衝撃波胆石破砕術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・腹腔鏡下肝切除術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）
・体外衝撃波膵石破砕術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・輸血管理料Ⅰ
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・輸血適正使用加算
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・コーディネート体制充実加算
・腹腔鏡下副腎摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術（褐色細胞腫）（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・自己生体組織接着剤作成術
・腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・自己クリオプレシピテート作製術（用手法）

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6　届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・同種クリオプレシピテート作製術	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・歯根端切除手術の注3	・
・麻酔管理料（Ⅰ）	・
・麻酔管理料（Ⅱ）	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・一回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療（IMRT）	・
・画像誘導放射線治療（IGRT）	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・画像誘導密封小線源治療加算	・
・保険医療機関間の連携による病理診断	・
・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	・
・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診	・
・病理診断管理加算2	・
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	検査部：血液内科カンファレンス（週1回）、ハートチーム（TAVI）・循環器内科カンファレンス（週1回） 病理部：臨床研修CPC（病理診断科主催）9 回，CPC・PMC（病理学講座主催）3 回，小児がんカンファレンス（小児科主催）12 回	
剖検の状況	剖検症例数（例）	12
	剖検率（%）	4.2

（注）「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
多因子疾患としての性分化疾患・生殖機能障害発症機序の解明	緒方　勤	医化学講座	14,820,000	○補 委	日本学術振興会
機能障がいに焦点をあてた神経発達症の診断体系の再構成	土屋　賢治	子どものこころの発達研究センター	18,330,000	○補 委	日本学術振興会
アルツハイマー病での神経生存とミクログリア極性変化の多角的可視化と治療応用	尾内　康臣	生体機能イメージング研究室	5,330,000	○補 委	日本学術振興会
羊水塞栓症の遺伝的リスク背景ならびに発症機序の解明：新たな治療戦略を目指して	伊東　宏晃	産婦人科学講座	4,290,000	○補 委	日本学術振興会
重症筋無力症根治に向けた革新的創薬基盤の構築	清水　広介	分子病態イメージング研究室	4,290,000	○補 委	日本学術振興会
自閉症者における社会的探究・嗜好及び社会関係の維持：分子機序・社会適応・発達	千住　淳	子どものこころの発達研究センター	6,240,000	○補 委	日本学術振興会
自閉症中核症状の新規治療シーズ創出：RCTベースの多層オミクスと検証的動物実験	山末　英典	精神医学講座	8,190,000	○補 委	日本学術振興会
ＥＧＦＲを標的とした放射線治療効果予測システムの開発と、放射線治療併用薬の最適化	間賀田　泰寛	分子病態イメージング研究室	5,850,000	○補 委	日本学術振興会
ヒューマンイミュノロジーを基軸としたアトピー性皮膚炎免疫病態の統合的理解	本田　哲也	皮膚科学講座	7,670,000	○補 委	日本学術振興会
ハイブリッドフローサイトメーターによる血中循環腫瘍細胞の新規質的診断法の開発	竹内　裕也	外科学第二講座	6,630,000	○補 委	日本学術振興会
HSVtk遺伝子導入Muse細胞を用いた膠芽腫治療戦略と生体モニタリングの開発	山﨑　友裕	脳神経外科学講座	1,170,000	○補 委	日本学術振興会
妊娠糖尿病既往のある女性の分娩後の糖尿病発症を予防するチーム医療のあり方	安田　孝子	臨床看護学講座	910,000	○補 委	日本学術振興会
ACPに基づく意思決定支援のための地域医療・介護多職種対象教育プログラムの開発	井上　真智子	地域家庭医療学講座（寄附講座）	780,000	○補 委	日本学術振興会
EMDRによる心的外傷後ストレス障害からの回復の脳基盤-自己知覚に着目して-	井上　淳	児童青年期精神医学講座（寄附講座）	520,000	○補 委	日本学術振興会

PK-PD解析に基づく自己免疫疾患に対する低分子分子標的薬の投与設計法の確立	見野　靖晃	薬剤部	1,170,000	○補委	日本学術振興会
日本人非喫煙者におけるER多型と肺腺癌リスクとの関連	陶　弘	腫瘍病理学講座	1,820,000	○補委	日本学術振興会
結核に対するシアリダーゼを用いた新規ナノ粒子ワクチンの開発	榎本　紀之	保健管理センター	910,000	○補委	日本学術振興会
がん遺伝子パネル検査の外部精度評価スキームの戦略的実践によって検査の質向上を図る	前川　真人	臨床検査医学講座	520,000	○補委	日本学術振興会
診断閾下の自閉スペクトラム特性をもつ女児の早期徴候の探索一縦断的出生コホート研究	西村　倫子	子どものこころの発達研究センター	1,040,000	○補委	日本学術振興会
大腸癌におけるPolyadenylation関連遺伝子の検討	濱屋　寧	第一内科診療科群	1,430,000	○補委	日本学術振興会
肺血管内皮細胞の低酸素応答による線維化促進の機序解明と治療への応用	乾　直輝	臨床薬理学講座	780,000	○補委	日本学術振興会
NKG2D、NKG2D ligand発現制御による円形脱毛症の新規治療の開発	伊藤　泰介	皮膚科学講座	1,300,000	○補委	日本学術振興会
血管周囲脂肪細胞による血管壁炎症に着目した腹部大動脈瘤形成の機序解明と治療戦略	佐々木　健	器官組織解剖学講座	1,170,000	○補委	日本学術振興会
植物性エストロゲンによる脳動脈瘤形成予防の解明	平松　久弥	脳神経外科	910,000	○補委	日本学術振興会
浸潤性脳腫瘍に対する分子標的薬と遺伝子治療との併用療法とその腫瘍微小環境の解明	黒住　和彦	脳神経外科学講座	1,430,000	○補委	日本学術振興会
ナノスーツ法による新しい精子評価方法の確立	宗　修平	生殖周産期医学講座（寄附講座）	780,000	○補委	日本学術振興会
妊婦のエネルギー摂取不足に起因する成長後の児の脂肪肝発症リスク軽減を目指して	幸村　友季子	産婦人科学講座	1,040,000	○補委	日本学術振興会
頭頸部癌におけるエピゲノム動態のリアルタイムモニタリング法の確立	三澤　清	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	520,000	○補委	日本学術振興会
若年者の後天共同性内斜視の原因と治療に関する研究	佐藤　美保	眼科学講座	780,000	○補委	日本学術振興会
わが国の難治性未診断眼疾患に対する新しい疾患概念の確立と診断法の開発に関する研究	堀田　喜裕	眼科学講座	1,170,000	○補委	日本学術振興会
成人例・慢性例の神経性やせ症に対しても有効な新たな治療法の開発	望月　洋介	精神科神経科	1,040,000	○補委	日本学術振興会

がん病態時における末梢性μオピオイド受容体拮抗薬による臨床効果の個人差要因の解明	川上　純一	薬剤部	1,430,000	○補委	日本学術振興会
終末期の間質性肺炎患者に対する緩和ケア確立に関する研究―呼吸困難に対する介入―	須田　隆文	内科学第二講座	780,000	○補委	日本学術振興会
大腸上皮細胞を介したIL-22とIL-33のクロストークが粘膜免疫へ及ぼす影響	杉本　健	内科学第一講座	1,040,000	○補委	日本学術振興会
低温誘導性RNA結合タンパクを基軸とした肺線維症の病態解明と新規治療の開発	穂積　宏尚	内科学第二講座	1,560,000	○補委	日本学術振興会
アクアポリン２を介した甲状腺ホルモンの体液調節機構の研究	松下　明生	内科学第二講座	1,430,000	○補委	日本学術振興会
腹部大動脈瘤壁の脈管新生の影響から導くPDE阻害薬の動脈瘤増大・破裂予防への応用	犬塚　和徳	第二外科診療科群	1,300,000	○補委	日本学術振興会
人工心肺中における脳梗塞の病態の解明：水素ガスによる二次性脳損傷予防	大橋　雅彦	麻酔・蘇生学講座	1,300,000	○補委	日本学術振興会
不眠に伴う恐怖記憶定着と循環障害への免疫監視機構関与と麻酔薬修飾効果に関する研究	木下　浩之	麻酔・蘇生学講座	2,301,995	○補委	日本学術振興会
シンデカンノックアウトラットにおける敗血症性脳障害の機序の解明	中島　芳樹	麻酔・蘇生学講座	1,170,000	○補委	日本学術振興会
腎癌のIO drugおよびTKI併用療法に対する耐性獲得機構解明と新規治療法開発	三宅　秀明	泌尿器科学講座	1,560,000	○補委	日本学術振興会
精しょうの質を可視化する新しい男性不妊症診断法および精子保護剤の開発	村林　奈緒	生殖周産期医学講座（寄附講座）	1,300,000	○補委	日本学術振興会
羊水塞栓症の病態解明のための全身主要臓器の特異的反応の検討	田村　直顕	周産母子センター	1,430,000	○補委	日本学術振興会
食道切除後術患者のサルコペニア予防を目的としたモバイルヘルスプログラムの開発	本家　淳子	周術期等生活機能支援学講座（寄附講座）	650,000	○補委	日本学術振興会
糖尿病性腎臓病患者における身体活動量からみた腎機能低下機序の解明：新たな治療戦略	平野　裕真	リハビリテーション部	1,040,000	○補委	日本学術振興会
近赤外光による3次元的画像再構成アルゴリズム構築と乳癌の新規バイオマーカーの創生	芳澤　暢子	放射線科診療科群	520,000	○補委	日本学術振興会
自閉スペクトラム特性の産前リスク因子と酸化ストレス：出生コホートMRS研究	岩渕　俊樹	子どものこころの発達研究センター	1,690,000	○補委	日本学術振興会
神経性やせ症の感情調節と脳の機能不全に対するMANTRAの有効性の検討	磯部　智代	精神科神経科	1,820,000	○補委	日本学術振興会

小児腫瘍患児の精神的苦痛と家族機能に対するアドバンス・ケア・プランニングの有効性	遠藤　ゆうな	精神科神経科	1,170,000	○補委	日本学術振興会
免疫老化機構からの原発性胆汁性胆管炎の病態解明と新規治療基盤の創出	伊藤　潤	第二内科診療科群	1,560,000	○補委	日本学術振興会
母体の不十分な妊娠中体重増加量（GWG）と児の神経発達予後の関連	中安　智香子	子どものこころの発達研究センター	1,560,000	○補委	日本学術振興会
ニコチン受容体機能に着目した注意欠如・多動症の病態解明：PETによる検討	藤田　宏治	精神科神経科	1,950,000	○補委	日本学術振興会
神経性やせ症におけるシナプス密度とミトコンドリア機能異常：PETによる検討	横倉　正倫	精神医学講座	1,040,000	○補委	日本学術振興会
不安を伴ううつ病の病態解明：PETによる疾患横断的検討と次世代治療シーズの創出	亀野　陽亮	精神医学講座	1,690,000	○補委	日本学術振興会
神経性やせ症と強迫症の機能的／解剖学的ネットワーク障害－疾患横断的な病態解明－	竹林　淳和	精神科神経科	1,690,000	○補委	日本学術振興会
量子マテリアルを放射線増感剤として利用した量子増感放射線療法の開発	荒牧　修平	細胞分子解剖学講座	1,950,000	○補委	日本学術振興会
Abbreviated MRIを用いた大腸癌肝転移検索アルゴリズムの開発	市川　新太郎	放射線診断学講座	2,730,000	○補委	日本学術振興会
社会性障害の克服を目指したオキシトシン神経系受容体の特異的画像化法開発	鈴木　千恵	分子病態イメージング研究室	1,430,000	○補委	日本学術振興会
超偏極MRI技術を用いた転移性肝がん超早期診断モデルの開発	五島　聡	放射線診断学講座	1,560,000	○補委	日本学術振興会
早産低出生体重児における動脈硬化前病変進展メカニズムの解明	石川　貴充	小児科学講座	1,430,000	○補委	日本学術振興会
MAFLD合併原発性胆汁性胆管炎の病態解明と新規治療法の構築	川田　一仁	第二内科診療科群	1,430,000	○補委	日本学術振興会
免疫監視機構に着目したインテグリン阻害剤によるNASH肝癌の新規治療戦略の創出	則武　秀尚	内科学第二講座	2,470,000	○補委	日本学術振興会
MSI変異随伴スプライシング異常による大腸がん薬物療法の感受性変化	岩泉　守哉	臨床検査医学講座	1,300,000	○補委	日本学術振興会
出血刺激に対するマクロファージの炎症反応応答と冠動脈プラーク進行の病態解明	坂本　篤志	内科学第三講座	2,600,000	○補委	日本学術振興会
個別化医療に向けた脂肪酸代謝に焦点をあてた肥大型心筋症の病因解明	前川　裕一郎	内科学第三講座	2,210,000	○補委	日本学術振興会

肥満による線毛機能障害に着目したウイルス性呼吸器感染症重症化の制御法の開発	藤澤　朋幸	第二内科診療科群	1,560,000	○補委	日本学術振興会
CD109分子による樹状細胞を標的としたアレルギー炎症制御	鈴木　勇三	内科学第二講座	1,690,000	○補委	日本学術振興会
運動のコリン作動性抗炎症反応経路を介し腎臓内RAS抑制による腎障害改善機序の検証	大橋　温	卒後教育センター	1,950,000	○補委	日本学術振興会
エイコサペンタエン酸のTGF-β1抑制作用に着目したリンパ浮腫薬物療法の開発	佐野　真規	第二外科診療科群	1,690,000	○補委	日本学術振興会
Type2 サイトカイン関連皮膚疾患におけるガレクチン－７の生理機能の解明	島内　隆寿	皮膚科	1,950,000	○補委	日本学術振興会
薬疹における皮膚レジデントメモリーT細胞関与の解明	藤山　俊晴	皮膚科	1,690,000	○補委	日本学術振興会
定常状態および炎症下における皮膚自然リンパ球の制御メカニズム	坂本　慶子	皮膚科	2,210,000	○補委	日本学術振興会
環境中アレルゲン除去による食物アレルギーの発症予防・治療	夏目　統	小児科学講座	520,000	○補委	日本学術振興会
重症インフルエンザ肺炎におけるウイルス特異的応答と好酸球死誘導	宮入　烈	小児科学講座	1,300,000	○補委	日本学術振興会
甲状腺ホルモンによる負の転写調節からみたバセドウ病の病因解明と治療戦略の探索	佐々木　茂和	第二内科診療科群	2,210,000	○補委	日本学術振興会
小腸移植における補体因子C5a阻害効果の解明と治療応用を目指した研究	當山　千巌	小児外科	1,950,000	○補委	日本学術振興会
Cancer neuroscienceに基づいた膵癌の新規治療法開発	森田　剛文	外科学第二講座	1,430,000	○補委	日本学術振興会
出血性ショックにおけるミトコンドリア酸化ストレスに注目したグリコカリックス保護	御室　総一郎	集中治療部	1,690,000	○補委	日本学術振興会
レミマゾラム投与によるマウスのせん妄表現調査と時計遺伝子Per2の検証	青木　善孝	集中治療部	1,170,000	○補委	日本学術振興会
長時間持続投与時のレミマゾラム血中濃度推移の薬物動態の解明	鈴木　祐二	集中治療部	1,560,000	○補委	日本学術振興会
災害時の複数傷病者に対するチーム型無人治療	齊藤　岳児	次世代創造医工情報教育センター	1,560,000	○補委	日本学術振興会
敗血症によって起こる血流変化と各重要臓器障害を起こす病態の解明	川島　信吾	麻酔・蘇生学講座	1,430,000	○補委	日本学術振興会
敗血症におけるミトコンドリア由来の酸化ストレスの制御によるグリコカリックス保護	八木原　正浩	麻酔科蘇生科	2,210,000	○補委	日本学術振興会

悪性脳腫瘍に対するヒト脱落乳歯歯髄幹細胞を用いた新規腫瘍溶解ウイルス療法	小泉　慎一郎	脳神経外科	1,430,000	○補委	日本学術振興会
胎児血液中の脂質プロファイルが胎盤発達と乳児の身体及び神経発達に及ぼす影響	谷口　千津子	女性医師支援センター	1,040,000	○補委	日本学術振興会
帝王切開時の分娩後出血を減らすーオキシトシン子宮筋注の子宮収縮維持効果の解析	成瀬　智	周産母子センター	2,080,000	○補委	日本学術振興会
HPV関連中咽頭癌の転写制御異常に基づく層別化と治療標的の解明	新村　大地	耳鼻咽喉科	3,380,000	○補委	日本学術振興会
ナノスーツ-CLEM法によるHPV関連鼻副鼻腔内反性乳頭腫の悪性転化機構の解明	石川　竜司	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,950,000	○補委	日本学術振興会
血管吻合用金属ステントとファイバーレーザー照射による微小血管吻合術の研究	中川　雅裕	形成外科	2,470,000	○補委	日本学術振興会
X染色体活性化状態に注目した女性口腔がんの新たな予後診断法の確立	増本　一真	歯科口腔外科学講座	1,040,000	○補委	日本学術振興会
ウェアラブルデバイスを用いた林業作業員の作業の識別と疲労度の客観的評価手法の開発	小田切　圭一	臨床研究センター	3,380,000	○補委	日本学術振興会
周術期生活機能支援を目的としたモバイルヘルスプログラムの新規開発	平松　良浩	周術期等生活機能支援学講座（寄附講座）	1,690,000	○補委	日本学術振興会
造血幹細胞移植に対する高強度インターバルトレーニングによる新しい治療戦略の構築	花島　渉	リハビリテーション部	3,250,000	○補委	日本学術振興会
高度肥満症における運動昇圧反射特性の解明および肥満減量手術による効果の検討	永房　鉄之	リハビリテーション部	2,990,000	○補委	日本学術振興会
上斜筋麻痺における下直筋後転術の治療効果に影響を与える因子に関する検討	古森　美和	眼科学講座	130,000	○補委	日本学術振興会
抗菌薬による腸内フローラの変化が及ぼすCYP3A4代謝薬剤の薬効・安全性への影響	八木　達也	薬剤部	650,000	○補委	日本学術振興会
食道癌周術期患者に対する客観的予後予測に基づく理学療法戦略の構築	髙尾　昌資	リハビリテーション部	520,000	○補委	日本学術振興会
母親学級ベースの虐待予防プログラムの開発と効果検討ー愛着の世代間伝達に着目してー	福元　優子	精神科神経科	650,000	○補委	日本学術振興会
抗EGFR抗体薬の血中動態・糖鎖修飾の定量的評価に基づくがん治療効果の個人差解明	柴田　海斗	薬剤部	1,560,000	○補委	日本学術振興会
皮膚障害発現機序の解明によるボリコナゾールの至適投与設計法の開発	山田　尚広	薬剤部	1,300,000	○補委	日本学術振興会
腸内細菌叢の変化に着目したPPI投与が及ぼす薬物代謝能への影響の評価	田中　達也	薬剤部	650,000	○補委	日本学術振興会

深層学習と圧縮センシングを融合した高速肝磁化率マッピング開発と臨床的有用性の確立	舟山　慧	放射線科診療科群	1,392,871	○補委	日本学術振興会
4D flow MRIによる血流解析を利用した、心筋梗塞に伴う左室内血栓症の予測	諏訪　賢一郎	内科学第三講座	650,000	○補委	日本学術振興会
植物性エストロゲン摂取による脳動脈瘤の破裂予防効果とメカニズムの検討	木村　哲朗	麻酔・蘇生学講座	130,000	○補委	日本学術振興会
脳動脈瘤破裂における脳動脈瘤壁への鉄集積の役割	神尾　佳宣	脳神経外科	1,040,000	○補委	日本学術振興会
ナノスーツ法を用いた血中循環HPV感染細胞のリアルタイムモニタリング法の確立	喜多　淳哉	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	650,000	○補委	日本学術振興会
頭頸部癌の血中循環腫瘍細胞による上皮間葉移行モニタリング法の確立	今井　篤志	耳鼻咽喉科	520,000	○補委	日本学術振興会
わが国のＸ連鎖性網膜色素変性患者と女性キャリアのＱＯＬ向上を目的とした臨床研究	倉田　健太郎	眼科	910,000	○補委	日本学術振興会
ステロイド筋症を非侵襲的に捉えるための表面筋電図の応用	長島　正明	リハビリテーション部	130,000	○補委	日本学術振興会
自閉症者の社会的動機付け：脳機能実験とウェブ実験を用いた計算論的精神医学研究	角谷　基文	子どものこころの発達研究センター	1,939,073	○補委	日本学術振興会
性分化疾患・生殖機能障害における葉酸とメチル化変動の関係	小野　裕之	小児科	1,690,000	○補委	日本学術振興会
動脈硬化マウスを用いたCOPDモデルの作成とCOPDの新規治療戦略の確立に向けて	安井　秀樹	臨床研究センター	1,560,000	○補委	日本学術振興会
小細胞肺がんの運命制御転写因子の相互排他性に注目した新規治療標的の探索	井上　裕介	第二内科診療科群	2,210,000	○補委	日本学術振興会
DPP4阻害薬によるシスプラチンの抗癌作用への影響と腎障害軽減機序の解明	岩倉　考政	第一内科診療科群	1,950,000	○補委	日本学術振興会
腸管筋線維芽細胞を標的とした腸炎関連性発がんの新規診断マーカー、治療法の探索	川村　崇文	外科学第二講座	1,690,000	○補委	日本学術振興会
4D-flow MRIを用いたステントグラフト術後瘤径拡大の新しい予測法の開発	片橋　一人	感染対策室	1,300,000	○補委	日本学術振興会
組織酸素飽和度測定器による重症虚血肢に対する必要十分な術中戦略の確立	嘉山　貴文	第二外科診療科群	520,000	○補委	日本学術振興会
羊水塞栓症における血液凝固障害の病態解明：早期診断法の開発に向けて	小田　智昭	産科婦人科	1,820,000	○補委	日本学術振興会
医学教育に潜むジェンダー・バイアスによる医師のアイデンティティ形成への影響	松井　智子	地域家庭医療学講座（寄附講座）	910,000	○補委	日本学術振興会

Interaction of genetic risk and early body mass index changes on neurodevelopmental disorders among Japanese children	Rahman Md. Shafiur	子どものこころの発達研究センター	1,040,000	○補委	日本学術振興会
経口抗腫瘍薬S-1の至適用量を算出する新規アプリケーションの開発	坊岡　英祐	第二外科診療科群	2,990,000	○補委	日本学術振興会
がん悪液質の病態時におけるCYP3A活性の定量評価とグレリン様作用薬の影響の解明	佐藤　聖	薬剤部	1,820,000	○補委	日本学術振興会
膵臓癌における脂質メディエーターによる増殖機構の解明と新規治療標的の探索	武田　真	外科学第二講座	1,560,000	○補委	日本学術振興会
がん関連線維芽細胞に発現するUBL3の非小細胞肺がん増殖・浸潤への寄与検証	高梨　裕典	第一外科診療科群	1,040,000	○補委	日本学術振興会
難治性側頭葉てんかんのミトコンドリア機能障害と神経炎症：PETを用いた病態解明	松平　敬史	生体機能イメージング研究室	1,560,000	○補委	日本学術振興会
自閉症におけるシナプス密度とミトコンドリア機能異常について：PETによる検討	加藤　康彦	精神医学講座	1,950,000	○補委	日本学術振興会
医用画像を用いたRadiomicアプローチによる肝細胞癌治療効果予測モデルの開発	棚橋　裕吉	放射線科診療科群	1,170,000	○補委	日本学術振興会
GILZによる抗炎症性腹腔マクロファージの誘導と腸管粘膜免疫機構の制御	田村　智	内科学第一講座	2,080,000	○補委	日本学術振興会
クッシング病におけるUSP48遺伝子変異の実態ならびに新規治療機序の解明	柿沢　圭亮	第二内科診療科群	1,300,000	○補委	日本学術振興会
砕石位手術における周術期合併症予防のための至適術中体位の確立	鈴木　雄飛	外科学第二講座	1,300,000	○補委	日本学術振興会
腫瘍免疫の低下したcold tumorの化学療法耐性機序の解明と新規治療法の開発	村上　智洋	第二外科診療科群	2,730,000	○補委	日本学術振興会
潰瘍性大腸炎におけるADAMTS13を介した血栓形成機序解明及び新規治療法の確立	阪田　麻裕	外科学第二講座	1,690,000	○補委	日本学術振興会
下肢閉塞性動脈硬化症・包括的高度慢性下肢虚血切断肢における動脈の病理学的検討	夏目　佳代子	第一外科診療科群	2,340,000	○補委	日本学術振興会
アナフィラキシーにおける血管内皮障害のリアルタイム観察と制御法の探索	小林　賢輔	麻酔科蘇生科	1,560,000	○補委	日本学術振興会
羊水塞栓症発症リスクの因子の探索	松家　まどか	産科婦人科	1,560,000	○補委	日本学術振興会
頭頸部癌における免疫治療抵抗性バイオマーカーの探索	三澤　由幾	耳鼻咽喉科	3,250,000	○補委	日本学術振興会
MRONJ外科療法へのICG蛍光法の応用	林　祐太郎	歯科口腔外科	4,030,000	○補委	日本学術振興会

プライマリケア遺伝診療の発展：がんリスク評価システムの開発と有用性の検証	鳴本　敬一郎	産婦人科家庭医療学（寄附）	2,210,000	○補委	日本学術振興会
In vitro共培養モデルを用いた膵癌神経周囲浸潤における因子の解明	古橋　暁	外科学第二講座	1,430,000	○補委	日本学術振興会
新しい解析手法を用いたマルチオミクス解析による知的障害/発達遅滞発症機序の解明	平出　拓也	小児科	1,430,000	○補委	日本学術振興会
がん悪液質における中枢機能障害の画像科学による病態機能解明	間賀田　泰寛	分子病態イメージング研究室	1,950,000	○補委	日本学術振興会
無痛分娩をうけた母児の長期予後～懸念の払しょくからアドバンテージの探索へ	土屋　賢治	子どものこころの発達研究センター	3,640,000	○補委	日本学術振興会
悪性腫瘍に対する新規超音波発光療法の開発	中村　和正	放射線腫瘍学講座	2,210,000	○補委	日本学術振興会
脳画像を基盤とする認知症血液バイオマーカーの国際検証研究	尾内　康臣	生体機能イメージング研究室	5,330,000	○補委	日本学術振興会
がん悪液質スコアに着目したナルデメジンの血中動態・臨床効果の個人差解明	中津川　瑛美	薬剤部	480,000	○補委	日本学術振興会
CYP3A4/5 代謝活性に基づく酸関連疾患に対するボノプラザンの個別化投与設計	坂口　健太	薬剤部	480,000	○補委	日本学術振興会
退院先の療養形態ごとにカスタマイズした退院サマリーの作成と評価	大澤　志保	薬剤部	480,000	○補委	日本学術振興会
血中トシリズマブ濃度の個人間差に対するIL-6受容体の遺伝子多型の関連性解析	望月　啓志	薬剤部	480,000	○補委	日本学術振興会
医療事故に関連した医療従事者に対する対応等に関する研究	大磯　義一郎	法学	651,093	○補委	厚生労働省
性分化・性成熟異常を伴う内分泌症候群（プラダー・ウィリ症候群・ヌーナン症候群を含む）の診療水準向上を目指す調査研究	緒方　勤	医化学講座	7,048,000	○補委	厚生労働省
地域保険における保健所に求められる役割の明確化に向けた研究	尾島　俊之	健康社会医学講座	3,690,000	○補委	厚生労働省
災害時の保健・医療・福祉及び防災分野の情報集約及び対応体制における連携推進のための研究	尾島　俊之	健康社会医学講座	18,372,000	○補委	厚生労働省
びまん性肺疾患に関する調査研究	須田　隆文	内科学第二講座	21,600,000	○補委	厚生労働省
地域における感染症対策に係るネットワークの標準モデルを検証・推進するための研究	宮入　烈	小児科学講座	10,450,000	○補委	厚生労働省

計　154

非病変蛋白脳画像と液性バイオマーカーを取り入れた早期認知症の層別化研究	尾内　康臣	生体機能イメージング研究室	49,400,000	補 ○委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
COVID-19 感染による・栓症発症・増悪機転の解明と治療介・の可能性の解明	浦野　哲盟	薬理学講座	40,300,000	補 ○委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
インプリンティング疾患の診療ガイドライン作成に向けたエビデンス創出研究	緒方　勤	医化学講座	1,300,000	補 ○委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
神経変性疾患治療薬の検証	瀬藤　光利	細胞分子解剖学講座	4,290,000	補 ○委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
特発性間質性肺炎の前向きレジストリの構築とインタラクティブMDD診断システムを用いた診断標準化に基づく疫学データの創出ー人工知能（AI）診断システムと新規バイオマーカーの開発ー	須田　隆文	内科学第二	11,834,000	補 ○委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ナノスーツ法による精子形態評価の機械学習アルゴリズムの開発	宗 修平	生殖周産期医学	8,686,613	補 ○委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
International Study for Treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL 2010(IntReALL SR 2010) 第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第III相国際共同臨床研究	坂口　公祥	小児科学講座	0	補 ○委	国立大学法人三重大学医学部附属病院独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
静脈血栓塞栓症における非ビタミンK阻害経口抗凝固薬治療の前向き追跡研究	海野　直樹	外科学第二講座	0	補 ○委	国立大学法人三重大学医学部附属病院
高リスク筋層非浸潤性膀胱癌に対するPDD-TURによる残存腫瘍減少効果の検討	三宅　秀明	泌尿器科学講座	0	補 ○委	国立大学法人山口大学
再発又は難治性のCD30陽性皮膚原発悪性リンパ腫を対象としたブレンツキシマブ ベドチンの有効性及び安全性を確認する多施設共同第II相医師主導治験	島内　隆寿	皮膚科学講座	0	補 ○委	国立大学法人岡山大学病院
EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌におけるアファチニブからオシメルチニブへの逐次投与の有効性を評価する多施設共同前向き観察研究（Gio-Tag Japan）	須田　隆文	内科学第二講座	0	補 ○委	宝塚市立病院
Epidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive（EGFRm+）進行非小細胞肺がん（NSCLC）初回オシメルチニブ治療の効果、安全性及び増悪後の治療に関する観察研究-Reiwa-	須田　隆文	内科学第二講座	88,000	補 ○委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
非小細胞肺癌におけるフルルビプロフェンアキセチル周術期投与による術後再発予防効果を検証するための多施設共同ランダム化第II相比較試験（FLAX試験）	船井　和仁	外科学第一講座	0	補 ○委	国立病院機構横浜医療センター
間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究	須田　隆文	内科学第二講座	120,000	補 ○委	国立大学法人東海国立大学機構（名古屋大学）
高中性脂肪血症を合併した冠動脈疾患を対象としたペマフィブラートの冠動脈プラークの退縮に及ぼす影響を検討する無作為化非盲検群間比較試験	前川　裕一郎	内科学第三講座	0	補 ○委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
食物アレルギーの長期予後と予後予測因子を解明するバイオマーカーの検討	夏目　統	小児科学講座	0	補 ○委	国立病院機構三重病院
CRP遺伝子多型と食道がんリンパ節転移に関する多施設共同後ろ向き観察研究	竹内　裕也	外科学第二講座	0	補 ○委	国立大学法人秋田大学

ヨード密度値を用いたHistogram analysisによる膵臓癌化学療法治療効果予測に関する研究	五島　聡	放射線診断学・核医学講座	35,000	補 ○委	国立大学法人東海国立大学機構
心不全増悪入院患者におけるアンジオテンシン・ネプリライシン阻害薬の研究（PREMIER study）	前川　裕一郎	内科学第三講座	0	補 ○委	国立大学法人佐賀大学医学部附属病院
間質性肺疾患合併多発性筋炎/皮膚筋炎患者を対象とした肺病変の進行を規定するバイオマーカー探索研究	穂積　宏尚	内科学第二講座	550,000	補 ○委	国立大学法人長崎大学
ソリフェナシンおよびIL-6の血清中濃度測定	見野　靖晃	薬剤部	0	補 ○委	国立大学法人信州大学
高TG血症合併NAFLDに対するペマフィブラート、フェノフィブラートの無作為化比較試験－多施設共同、オープン試験－	川田　一仁	第二内科	0	補 ○委	公立大学法人横浜市立大学
起業活動支援およびアントレプレナーシップ教育の場で使用するケーススタディ教材の製作と講義・実習	天野　優子	産学連携・知財活用推進センター	500,000	補 ○委	公益財団法人医療機器センター
日本における関節リウマチ患者の生物学的製剤効果不十分例に対するペフィシチニブへの切り替え効果を調査する後ろ向きチャートレビュー研究	小川　法良	第三内科	0	補 ○委	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコールの策定に関する研究」（MYSTICS）	前川　裕一郎	内科学第三講座	0	補 ○委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
慢性骨髄性白血病におけるチロシンキナーゼ阻害剤との長期併用時のTM5614の安全性・有効性を検証する第Ⅲ相試験	小野　孝明	輸血・細胞治療部	1,272,700	補 ○委	国立大学法人東北大学
転移性去勢抵抗性前立腺癌に対するアパルタミドの有効性・安全性の評価を目的とした多施設共同単群試験	三宅　秀明	泌尿器科学講座	0	補 ○委	国立大学法人神戸大学
浜松市児童青年期メンタルヘルス支援人材育成事業業務委託	土屋　賢治	子どものこころの発達研究センター	6,000,000	補 ○委	浜松市
Tokai Network for Global Leading Innovation（Tongali）	山本　清二	産学連携・知財活用推進センター	1,129,700	補 ○委	国立研究開発法人科学技術振興機構
イメージング質量分析による動態評価技術の新規モダリティ薬剤への適応展開	瀬藤　光利	細胞分子解剖学講座	19,500,000	補 ○委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
成人発症スチル病（AOSD）に対する5-アミノレブリン酸塩酸塩／クエン酸第一鉄ナトリウム（5-ALA HCL/SFC）投与の医師主導治験	小川　法良	第三内科	1,300,000	補 ○委	国立大学法人長崎大学
Tokai Network for Global Leading Innovation（Tongali）	山本　清二	産学連携・知財活用推進センター	10,010,000	補 ○委	国立研究開発法人科学技術振興機構
誰でも名精神科医に：客観定量的行動解析の活用による双極性障害診断精度の改良とそれによる治療支援法の開発	山末　英典	精神医学	6,500,000	補 ○委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
シリコン製巻き付け式の弾性着衣着用補助具の開発	佐野　真規	第二外科	1,065,480	補 ○委	国立研究開発法人科学技術振興機構
RhoBTB2機能異常による新規てんかんモデル動物を用いた遺伝子サイレンシング治療法の確立	才津　浩智	医化学講座	1,880,000	補 ○委	国立大学法人北海道大学

ヒト体外受精胚の着床率を向上せしめる新技術の開発	岩城　孝行	薬理学講座	2,852,000	○補 委	国立大学法人東海国立大学機構	
セロトニン神経細胞を標的とした自閉症治療薬シード化合物の探索	山岸　覚	光神経解剖学研究室	1,350,000	○補 委	国立大学法人筑波大学	
ビフィズス菌を利用した経口がんワクチンによる進行性尿路上皮癌を対象とした医師主導治験	三宅　秀明	泌尿器科学講座	2,600,000	○補 委	国立大学法人神戸大学	計　192

（注）1　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3　「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	津田　和政	第一外科	18-Fluorodeoxyglucose positron emission tomography in the diagnosis of prosthetic aortic graft infection: the difference between open and endovascular repair.	European journal of cardio-thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio-thoracic Surgery 2022.12	Original Article
2	彦谷　明子	眼科	A case of siblings with juvenile retinitis pigmentosa associated with gene variants.	Ophthalmic genetics 2022.11	Original Article
3	影山　玲子	医学科 皮膚科学講座	A case of telogen effluvium followed by alopecia areata after SARS-CoV-2 infection.	The Journal of dermatology 2023.1	Letter
4	鈴木　祐二	中央診療施設（診療部門）集中治療部	A comparison of remimazolam and propofol for postoperative nausea and vomiting: A propensity score-matched, observational, single-center cohort study.	Korean journal of anesthesiology 2022.10	Original Article
5	平出　拓也	小児科	A deep intronic TCTN2 variant activating a cryptic exon predicted by SpliceRover in a patient with Joubert syndrome.	Journal of human genetics 2023.3	Original Article
6	諏訪　賢一郎	医学科 内科学第三講座（循環器・血液・免疫リウマチ内科学分野）	A Left ventricle remodeling in patients with bicuspid aortic valve.	The international journal of cardiovascular imaging 2023.2	Original Article
7	平出　拓也	小児科	A novel de novo KCNB1 variant altering channel characteristics in a patient with periventricular heterotopia, abnormal corpus callosum, and mild seizure outcome.	Journal of human genetics 2022.10	Original Article
8	柄山　正人	中央診療施設（診療部門）腫瘍センター	A predictive model for acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonias.	The European respiratory journal 2023.2	Original Article
9	竹内　裕也	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）	A Single-Arm Confirmatory Study of Definitive Chemoradiation Therapy Including Salvage Treatment for Clinical Stage II/III Esophageal Squamous Cell Carcinoma (JCOG0909 Study).	International Journal of Radiation Oncology・Biology・Physics 2022.11	Original Article
10	大石　彰	中央診療施設（診療部門）周産母子センター	Accuracy of transcutaneous bilirubin level measured by a JM-105 bilirubinometer.	Pediatrics and neonatology 2023.1	Original Article

11	磯部　伸介	第一内科	AKI in a Patient with Myelodysplastic Syndrome and Dark Urine.	Kidney360　2022.10	Case report
12	柄山　正人	中央診療施設（診療部門）腫瘍センター	Association between increased peripheral blood CD86-positive plasmacytoid dendritic cells and immune-related adverse events in patients with non-small cell lung cancer.	Global health & medicine　2022.12	Original Article
13	山田　智裕	医学科 整形外科学講座	Association between Pelvic Parameters and Vaginal Delivery.	Asian spine journal　2022.4	Original Article
14	青木　善孝	中央診療施設（診療部門）集中治療部	Association between remimazolam and postoperative delirium in older adults undergoing elective cardiovascular surgery: a prospective cohort study.	Journal of anesthesia　2023.2	Original Article
15	生駒　剛典	第三内科	Association of an Increased Abnormal Mitochondria Ratio in Cardiomyocytes with a Prolonged Oxygen Uptake Time Constant during Cardiopulmonary Exercise Testing of Patients with Non-ischemic Cardiomyopathy.	Internal medicine (Tokyo, Japan) 2022.11	Original Article
16	中西　啓	耳鼻咽喉科	Auditory and Vestibular Characteristics of NLRP3 Inflammasome Related Autoinflammatory Disorders: Monogenic Hearing Loss Can Be Improved by Anti-interleukin-1 Therapy.	Frontiers in neurology　2022.4	Original Article
17	下山　久美子	第三内科	Behçet's Disease with Bilateral Renal Infarction Due to Mucormycosis.	Internal Medicine　2022.4	Review
18	小川　主税	医学科 歯科口腔外科学講座	BMP10 expression in the adult rat central nervous system.	Journal of chemical neuroanatomy 2022.4	Original Article
19	小野　孝明	中央診療施設（診療部門）輸血・細胞治療部	Bosutinib in Japanese patients with newly diagnosed chronic-phase chronic myeloid leukemia: final 3-year follow-up results of a phase 2 study.	INTERNATIONAL JOURNAL OF HEMATOLOGY　2022.12	Original Article
20	坂本　篤志	医学科 内科学第三講座（循環器・血液・免疫リウマチ内科学分野）	CD163+ macrophages restrain vascular calcification, promoting the development of high-risk plaque.	JCI insight　2023.1	Original Article
21	増永　陽平	寄附講座 地域医療支援学講座	Clinical and molecular findings in three Japanese patients with N-acetylneuraminic acid synthetase-congenital disorder of glycosylation (NANS-CDG).	Scientific reports　2022.10	Original Article

22	有馬　秀幸	次世代創造医工情報教育センター	Clinical Outcomes and Complications of Corrective Fusion Surgery Down to L4, L5, and the Pelvis for Adult Scoliosis in Patients Younger than 50 Years.	Spine surgery and related research 2022.9	Original Article
23	有馬　秀幸	次世代創造医工情報教育センター	Clinical Outcomes of Corrective Fusion Surgery From the Thoracic Spine to the Pelvis for Adult Spinal Deformity at 1, 2, and 5years Postoperatively.	Spine　2022.6	Original Article
24	小野　孝明	中央診療施設（診療部門）輸血・細胞治療部	Clinical outcomes of second-generation tyrosine kinase inhibitors versus imatinib in older patients with CML.	CANCER SCIENCE　2022.11	Original Article
25	花田　充	中央診療施設（支援部門）卒後教育センター	Comparison Between the Simultaneous Reconstructions of the Anterior Talofibular Ligament and Calcaneofibular Ligament and the Single Reconstruction of the Anterior Talofibular Ligament for the Treatment of Chronic Lateral Ankle Instability.	The Journal of Foot & Ankle Surgery 2022.5	Original Article
26	本山　大輔	寄附講座 先進ロボット手術開発学講座	Comparison of perioperative outcomes among patients with exophytic, mesophytic, and endophytic renal tumors undergoing robot-assisted partial nephrectomy.	International journal of urology : official journal of the Japanese Urological Association　2022.9	Original Article
27	市川　新太郎	医学科 放射線診断学講座	Computed tomography and magnetic resonance imaging findings of gynaecologic emergencies: A pictorial essay.	Journal of medical imaging and radiation oncology　2022.8	Review
28	市川　新太郎	医学科 放射線診断学講座	Computed tomography findings of abnormal gas in the abdomen and pelvis.	Singapore medical journal　2022.6	Review
29	松山　幸弘	医学科 整形外科学講座	Condoliase chemonucleolysis for lumbar disc herniation: A post-hoc follow-up study of patients in previous clinical trials.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association　2022.5	Original Article
30	坂野　友啓	寄附講座 森町地域包括ケア講座	Condoliase therapy for lumbar disc herniation −2 year clinical outcome.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association　2022.11	Original Article
31	須田　隆文	医学科 内科学第二講座（内分泌・呼吸・肝臓内科学分野）	Current treatment status of patients with idiopathic pulmonary fibrosis in Japan based on a claims database analysis.	Respiratory investigation　2022.11	Original Article
32	平野　裕真	リハビリテーション部	Decline in Walking Independence and Related Factors in Hospitalization for Dialysis Initiation: A Retrospective Cohort Study.	Journal of clinical medicine　2022.11	Original Article

33	生駒　剛典	第三内科	Diagnostic value of heart-to-mediastinum ratio in Tc-pyrophospate SPECT/CT for transthyretin cardiac amyloidosis.	Journal of nuclear cardiology : official publication of the American Society of Nuclear Cardiology 2022.12	Original Article
34	成味　太郎	第三内科	Distribution of evoked delayed potential and delayed potential in a patient with subendocardial inferior infarction and transmural postero-lateral infarction: A case report.	Journal of electrocardiology　2022.7	Review
35	大谷　速人	第三内科	Drug-refractory Heart Failure in Female Carrier of Duchenne Muscular Dystrophy: A Case of X-linked Dilated Cardiomyopathy.	Internal medicine (Tokyo, Japan) 2022.11	Review
36	伊東　宏晃	医学科 産婦人科学講座	Editorial: A Half-Century History of Nutritional Guidance for Pregnant Women in Japan: A Promising Research Target of the DOHaD Study.	Frontiers in endocrinology　2022.7	Original Article
37	中西　啓	耳鼻咽喉科	Editorial: Autoinflammation of the inner ear.	Frontiers in neurology　2022.11	Review
38	大村　威夫	寄附講座 森町地域包括ケア講座	Editorial: Axonal growth in normal and pathological conditions.	Front Mol Neurosci　2022.12	Review
39	當山　千巌	小児外科	Effect of a C5a receptor antagonist on macrophage function in an intestinal transplant rat model.	Transplant immunology　2022.6	Original Article
40	山末　英典	医学科 精神医学講座	Effect of a novel nasal oxytocin spray with enhanced bioavailability on autism: a randomized trial.	BRAIN　2022.4	Original Article
41	井出　浩一郎	医学科 整形外科学講座	Effect of corrective stresses on rods in adult spinal deformity surgery-finite element analysis.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association　2023.3	Original Article
42	石田　夏樹	中央診療施設（診療部門）光学医療診療部	Effect of disease duration on fecal biomarkers in ulcerative colitis: a prospective cohort study.	BMC gastroenterology　2022.9	Original Article
43	犬塚　祐介	小児科	Effective Primary Prevention of Atopic Dermatitis in High-Risk Neonates via Moisturizer Application: Protocol for a Randomized, Blinded, Parallel, Three-Group, Phase II Trial (PAF Study).	Frontiers in allergy　2022.4	Others

44	青木　善孝	中央診療施設（診療部門）集中治療部	Effects of fentanyl administration in mechanically ventilated patients in the intensive care unit: a systematic review and meta-analysis.	BMC anesthesiology　2022.10	Original Article
45	三宅　秀明	医学科 泌尿器科学講座	Efficacy and safety of apalutamide in patients with metastatic castration-resistant prostate cancer (GENESIS): protocol for a multicentre, open-label, single-arm clinical trial.	BMJ open　2023.3	Original Article
46	大石　知也	脳神経外科	Efficacy of HSV-TK/GCV system suicide gene therapy using SHED expressing modified HSV-TK against lung cancer brain metastases.	Molecular therapy. Methods & clinical development　2022.7	Original Article
47	石川　貴充	医学科 小児科学講座	Efficacy of intravenous propranolol for life-threatening diffuse neonatal hemangiomatosis.	Pediatr Dermatol　2022.6	Case report
48	川島　信吾	医学科 麻酔・蘇生学講座	Electroencephalogram inability to detect intraoperative awakening in a patient with remimazolam tolerance.	Minerva anestesiologica　2022.11	Letter
49	関原　圭吾	第一外科	Evaluation of a bundle approach for the prophylaxis of ventilator-associated pneumonia: A retrospective single-center Study.	Global health & medicine　2023.2	Original Article
50	黒須　健太	整形外科	Expression and Kinetics of Endogenous Cannabinoids in the Brain and Spinal Cord of a Spare Nerve Injury (SNI) Model of Neuropathic Pain.	Cells　2022.12	Original Article
51	小田切　圭一	中央診療施設（支援部門）臨床研究センター	Feasibility study of a LED light irradiation device for the treatment of chronic neck with shoulder muscle pain/stiffness.	PloS one　2022.10	Original Article
52	成味　太郎	第三内科	Focal atrial tachycardia originating in the distal portion of the right atrial appendage aneurysm.	Heart rhythm　2022.7	Case report
53	安部　正和	医学科 産婦人科学講座	Fosnetupitant for the Prevention of Chemotherapy-Induced Nausea and Vomiting: A Short Review and Clinical Perspective.	Advances in therapy　2023.3	Original Article
54	榎本　紀之	保健管理センター	Frequency, proportion of PF-ILD, and prognostic factors in patients with acute exacerbation of ILD related to systemic autoimmune diseases.	BMC pulmonary medicine　2022.10	Original Article

55	伊藤　泰介	医学科 皮膚科学講座	Health-related quality of life in patients with alopecia areata: Results of a Japanese survey with norm-based comparisons.	Journal of Dermatology　2022.6	Original Article
56	古橋　弘基	整形外科	How does corrective fusion surgery for adult spinal deformities affect pelvic inclination in the supine position as the reference plane for THA?.	European journal of orthopaedic surgery & traumatology : orthopedie traumatologie　2023.1	Original Article
57	竹内　裕也	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）	How to improve the prognosis of high-risk elderly gastric cancer patients.	Annals of Gastroenterological Surgery　2022.10	Original Article
58	坂本　慶子	皮膚科	Identification of skin-infiltrating donor lymphocytes in a case of pre-engraftment syndrome.	Journal of Dermatology　2023.3	Case report
59	伊藤　敏谷	中央診療施設（診療部門）周産母子センター	Identifying Active Progeny Virus Particles in Formalin-Fixed, Paraffin-Embedded Sections Using Correlative Light and Scanning Electron Microscopy.	Laboratory investigation; a journal of technical methods and pathology 2023.1	Original Article
60	川瀬　晃和	医学科 外科学第一講座（心臓血管・呼吸器・一般（内視鏡）・乳腺外科学分野）	Immune checkpoint inhibitors for non-small cell lung cancer patients on steroid or non-steroidal anti-inflammatory drugs treatment-therapeutic indication or therapeutic efficacy?.	Translational cancer research 2022.9	Letter
61	宮津　隆裕	第一内科	Importance of eosinophilic infiltration of the colonic mucosa in ulcerative colitis patients who are refractory to maintenance therapy: A prospective, single-center study.	Medicine　2022.10	Original Article
62	船井　和仁	医学科 外科学第一講座（心臓血管・呼吸器・一般（内視鏡）・乳腺外科学分野）	Improved complete portal 4-port robotic lobectomy for lung cancer: Hamamatsu Method KAI.	Journal of thoracic disease　2023.3	Original Article
63	成味　太郎	第三内科	Individualised left anterior oblique projection for lead implantation into interventricular septum.	Open heart　2022.8	Original Article
64	樋口　友洋	第一内科	Influence of daily versus alternate-day dosing of vonoprazan on intragastric pH, serum gastrin, and the antiplatelet function of clopidogrel : Influence of alternate-day dosing of vonoprazan.	European journal of clinical pharmacology　2022.6	Original Article
65	三宅　秀明	医学科 泌尿器科学講座	Initial Experience of Robot-Assisted Partial Nephrectomy Using Hinotori Surgical Robot System: Single Institutional Prospective Assessment of Perioperative Outcomes in 30 Cases.	Journal of endourology　2023.3	Original Article

66	棚橋　裕吉	放射線科	Intranodal dynamic contrast-enhanced CT lymphangiography and dynamic contrast-enhanced MR lymphangiography in microminipig.	European radiology　2023.2	Original Article
67	高梨　裕典	第一外科	Left upper lobectomy with combined distal aortic arch and left subclavian artery resection after neoadjuvant chemoradiotherapy for locally advanced lung squamous cell carcinoma.	Respirology case reports　2022.8	Case report
68	田村　啓多	医学科 泌尿器科学講座	Limited impact of erectile function on health-related quality of life in Japanese men undergoing robot-assisted radical prostatectomy.	International journal of urology : official journal of the Japanese Urological Association　2022.9	Original Article
69	高梨　裕典	第一外科	Lipid biomarkers that reflect postoperative recurrence risk in lung cancer patients who smoke: a case-control study.	Lipids in health and disease　2023.1	Original Article
70	加藤　康彦	医学科 精神医学講座	Lower Availability of Mitochondrial Complex I in Anterior Cingulate Cortex in Autism: A Positron Emission Tomography Study.	The American journal of psychiatry 2022.9	Original Article
71	石田　夏樹	中央診療施設（診療部門）光学医療診療部	Lymphocyte to monocyte ratio and serum albumin changes predict tacrolimus therapy outcomes in patients with ulcerative colitis.	Scientific reports　2022.8	Original Article
72	石田　夏樹	中央診療施設（診療部門）光学医療診療部	Lymphocyte-to-monocyte ratio is a short-term predictive marker of ulcerative colitis after induction of advanced therapy.	Gastroenterology report　2022.6	Original Article
73	岩泉　守哉	中央診療施設（診療部門）検査部	Methylation of CpG island promoters at , , and in a patient with numerous non-granular type laterally spreading tumors and colorectal cancer: A case report.	Oncology letters　2023.1	Case report
74	舟山　慧	放射線科	Model-based Deep Learning Reconstruction Using a Folded Image Training Strategy for Abdominal 3D T1-weighted Imaging.	Magnetic Resonance in Medical Sciences　2022.11	Original Article
75	宮津　隆裕	第一内科	Modified method of patency judgement using patency capsule prior to capsule endoscopy in clinical practice.	Scientific reports　2022.8	Original Article
76	坂本　慶子	皮膚科	Mouse models for atopic dermatitis.	Current Protocols for Immunology 2023.3	Others

77	早乙女　雅夫	第三内科	Multiple Ligation-dependent Probe Amplification Along with Whole Exome Sequencing Should be Required for the Diagnosis of Structural Heterozygous Familial Hypercholesteremia.	Internal medicine (Tokyo, Japan) 2022.10	Case report
78	坊岡　英祐	第二外科	Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio to Predict the Efficacy of Immune Checkpoint Inhibitor in Upper Gastrointestinal Cancer.	Anticancer research　2022.6	Original Article
79	市川　新太郎	医学科 放射線診断学講座	Non-traumatic adult acute abdomen with high-attenuation lesions or materials in the gastrointestinal tract on unenhanced computed tomography.	Singapore medical journal　2022.8	Review
80	青木　善孝	中央診療施設（診療部門）集中治療部	Norepinephrine versus dopamine postoperatively in patients who underwent noncardiac surgery: A propensity-matched analysis using a nationwide intensive care database.	Korean journal of anesthesiology 2023.3	Original Article
81	本田　哲也	医学科 皮膚科学講座	Novel Insights Into the Immune-Regulatory Functions of Mast Cells in the Cutaneous Immune Response.	Frontiers in Immunolgy　2022.5	Review
82	齊藤　岳児	次世代創造医工情報教育センター	Novel magnetic wrist band for comfortable suturing by surgeons.	Acute Med Surg　2023.3	Letter
83	石川　竜司	医学科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	Novel prognostic value and potential utility of opioid receptor gene methylation in liquid biopsy for oral cavity cancer.	Current problems in cancer　2022.4	Original Article
84	藤澤　朋幸	第二内科	Palliative care for interstitial lung disease: A nationwide survey of pulmonary specialists.	Respirology (Carlton, Vic.)　2023.3	Original Article
85	椎谷　紀彦	医学科 外科学第一講座（心臓血管・呼吸器・一般（内視鏡）・乳腺外科学分野）	Patency of separate tube grafts for intercostal artery reconstruction: Size and length matter.	European journal of cardio-thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio-thoracic Surgery　2023.1	Original Article
86	榎本　紀之	保健管理センター	Pathological Roles of Pulmonary Cells in Acute Lung Injury: Lessons from Clinical Practice.	International journal of molecular sciences　2022.11	Review
87	犬塚　祐介	小児科	Pediatric cold-induced anaphylaxis and evaluation using TempTest®.	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology　2022.7	Letter

88	坂野　友啓	寄附講座 森町地域包括ケア講座	Perioperative lumbar subarachnoid drainage could not prevent postoperative CSF leakage after spinal cord tumor resection using an artificial dura mater.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association 2022.7	Original Article
89	飯嶋　重雄	寄附講座 地域周産期医療学講座	Pitfalls in the serological evaluation of maternal cytomegalo-virus infection as a potential cause of fetal and neonatal in-volvements: A narrative literature review.	Journal of Clinical Medicine 2022.8	Review
90	関原　圭吾	第一外科	Poor prognosis of patients with severe COVID-19 admitted to an infectious disease intensive care unit during the pandemic caused by the Delta variant in Japan.	Global health & medicine 2022.4	Original Article
91	大橋　温	中央診療施設（支援部門）卒後教育センター	Positive relationships between annual changes in salt intake and plasma B-type natriuretic peptide levels in the general population without hypertension and heart diseases.	Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension 2022.4	Original Article
92	栗原　和生	医学科 皮膚科学講座	Possible involvement of interleukin-22-producing CD103+ CD8+ T cells in the epidermal hyperplasia of atopic dermatitis.	The Journal of dermatology 2022.7	Letter
93	石田　夏樹	中央診療施設（診療部門）光学医療診療部	Predicting Ulcerative Colitis Relapse in Clinical Remission With Fecal Immunochemical Occult Blood Test or Prostaglandin E-Major Urinary Metabolite.	Clinical and translational gastroenterology 2022.7	Original Article
94	坂野　友啓	寄附講座 森町地域包括ケア講座	Preoperative less right shoulder elevation had a higher risk of postoperative shoulder imbalance when main thoracic curve is over corrected regardless of the UIV level for patients with AIS Lenke type 1.	Asian spine journal 2023.2	Original Article
95	生駒　剛典	第三内科	Prevalence and Characteristics of Inspiration-Induced Negative Left Atrial Pressure during Pulmonary Vein Isolation.	Journal of cardiovascular development and disease 2023.2	Original Article
96	船井　和仁	医学科 外科学第一講座（心臓血管・呼吸器・一般（内視鏡）・乳腺外科学分野）	Rare ashy dermatosis-like hyperpigmentation associated with osimertinib.	Thoracic cancer 2022.5	Case report
97	石田　夏樹	中央診療施設（診療部門）光学医療診療部	Real-World Efficacy and Safety Monitoring for Predicting Continuation of Tofacitinib Therapy in Patients with Ulcerative Colitis.	Digestive diseases and sciences 2022.8	Original Article
98	坊岡　英祐	第二外科	Recent Advances in Sentinel Node Navigation Surgery for Early Gastric Cancer.	Journal of gastric cancer 2023.1	Review

99	村木　隆太	第二外科	Refractory postoperative Staphylococcus hominis bacteremia in a patient with an ACTH-producing pancreatic neuroendocrine neoplasm: a case report.	Surgical case reports　2022.6	Case report
100	平野　裕真	リハビリテーション部	Rehabilitation of a Patient With Minimal Change Nephrotic Syndrome and Acute Kidney Injury: A Case Report.	Journal of UOEH　2022.9	Original Article
101	花田　充	中央診療施設（支援部門）卒後教育センター	Relationship between the Femoral and Tibial Component Positions and Postoperative Knee Range of Motion after Posterior-Stabilized Total Knee Arthroplasty in Varus-Aligned Knees.	Journal of Knee Surgery　2022.9	Original Article
102	青木　善孝	中央診療施設（診療部門）集中治療部	Response to a letter to the editor by Jia and Teng: remimazolam and postoperative delirium in older adults undergoing elective cardiovascular surgery.	Journal of anesthesia　2023.2	Letter
103	黒住　和彦	医学科 脳神経外科学講座	Response to entrectinib in a malignant glioneuronal tumor with ARHGEF2-NTRK fusion.	Neuro-oncology advances　2022.6	Case report
104	大和　雄	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	Revision Surgery for a Rod Fracture with Multirod Constructs Using a Posterior-Only Approach Following Surgery for Adult Spinal Deformity.	Asian spine journal　2022.10	Original Article
105	木次　健介	第二内科	Rifaximin Improves Liver Functional Reserve by Regulating Systemic Inflammation.	Journal of clinical medicine　2023.3	Original Article
106	坂野　友啓	寄附講座 森町地域包括ケア講座	Risk factors and clinical impact of persistent coronal imbalance after posterior spinal fusion in thoracolumbar/lumbar idiopathic scoliosis.	Journal of neurosurgery. Spine 2022.12	Original Article
107	中井　慶一	整形外科	Risk factors for coronal oblique take-off following adult spinal deformity surgery using lateral lumbar interbody fusion and open posterior corrective fusion.	Spine deformity　2022.5	Original Article
108	本山　大輔	寄附講座 先進ロボット手術開発学講座	Robot-assisted radical nephrectomy and inferior vena cava tumor thrombectomy: Initial experience in Japan.	IJU case reports　2022.5	Case report
109	佐野　真規	第二外科	Role of Subcutaneous Adipose Tissues in the Pathophysiology of Secondary Lymphedema.	Lymphatic research and biology 2022.12	Original Article

110	大場　健司	医学教育推進センター	Role of thyroid hormone in an experimental model of atherosclerosis: the potential mediating role of immune response and autophagy.	Endocrine journal　2022.9	Review
111	海野　響子	第三内科	Safety of a Cardiac Resynchronization Therapy Device Implantation in a Patient with Unstable Heart Failure Who Require Impella-Device Assistance.	International heart journal　2022.5	Original Article
112	井上　裕介	第二内科	Serum immune modulators associated with immune-related toxicities and efficacy of atezolizumab in patients with non-small cell lung cancer.	Journal of cancer research and clinical oncology　2022.7	Original Article
113	井出　浩一郎	医学科 整形外科学講座	Sex differences between the relationship of trunk muscle mass and whole body sagittal plane alignment in older adults.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association　2023.3	Original Article
114	坂野　友啓	寄附講座 森町地域包括ケア講座	Should the upper end vertebra be selected as the upper instrumented vertebra in patients with Lenke type 5C adolescent idiopathic scoliosis?.	Spine deformity　2022.9	Original Article
115	松下　雄登	泌尿器科	Significant impact of a history of prior or concomitant upper urinary tract cancer on the recurrence and progression of non-muscle invasive bladder cancer.	Japanese journal of clinical oncology 2022.8	Original Article
116	栗田　忠代士	中央診療施設（診療部門）手術部	Stomach, liver, kidney and skeletal muscle autoregulation evaluated by near-infrared spectroscopy in a swine model.	Journal of clinical monitoring and computing　2023.1	Original Article
117	當山　千巌	小児外科	Suppression of xenogeneic innate immune response by a membrane-type human surfactant protein-A.	Experimental and therapeutic medicine　2022.9	Original Article
118	椎谷　紀彦	医学科 外科学第一講座（心臓血管・呼吸器・一般（内視鏡）・乳腺外科学分野）	Surgical Approaches to Single-Stage Extended Aortic Repair from the Ascending to the Distal Descending Aorta.	Annals of thoracic and cardiovascular surgery : official journal of the Association of Thoracic and Cardiovascular Surgeons of Asia　2023.2	Review
119	木村　通男	中央診療施設（支援部門）医療情報部	Surveys Aimed at General Citizens of the US and Japan About Their Attitudes Toward Electronic Medical Data Handling - 10 Years Change, Before and After Covid-19.	Studies in health technology and informatics　2022.10	Original Article
120	坂本　慶子	皮膚科	T cell-rich perivascular inflammation in a case of cutaneous variant intravascular large B-cell lymphoma.	Journal of Dermatology　2022.7	Case report

121	坂本　慶子	皮膚科	The double-stranded RNA analog, poly(I:C), triggers distinct transcriptomic shifts in keratinocyte subsets.	Journal of Investigative Dermatology 2022.4	Letter
122	坂野　友啓	寄附講座 森町地域包括ケア講座	The Incidence of Iliac Screw-Related Complications After Long Fusion Surgery in Patients with Adult Spinal Deformity.	Spine　2022.4	Original Article
123	栗田　忠代士	中央診療施設（診療部門）手術部	The influence of haemorrhagic shock on the pharmacokinetic and pharmacodynamic effects of remimazolam in a swine model A laboratory study.	European Journal of Anaesthesiology and Intensive Care 2022.8	Original Article
124	大和　雄	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	The use of lateral lumbar interbody fusion for identifying adult patients with spinal deformities treatable by short corrective fusion in 2-stage surgery.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association　2023.1	Original Article
125	大江　慎	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	The validation study of preoperative surgical planning for corrective target in adult spinal deformity surgery with 5-year follow-up for mechanical complications.	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society　2022.12	Original Article
126	高梨　裕典	第一外科	Thyroid transcription factor-1 expression in rectal adenocarcinoma metastatic to the lung.	Respiratory medicine case reports 2023.1	Case report
127	吉田　剛	整形外科	Transcranial Motor-evoked Potential Alert After Supine-to-Prone Position Change During Thoracic Ossification in Posterior Longitudinal Ligament Surgery: A Prospective Multicenter Study of the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Related	Spine　2022.7	Original Article
128	吉田　剛	整形外科	Transcranial Motor-evoked Potentials for Intraoperative Nerve Root Monitoring During Adult Spinal Deformity Surgery: A Prospective Multicenter Study.	Spine　2022.11	Original Article
129	山田　智史	耳鼻咽喉科	Update on Findings about Sudden Sensorineural Hearing Loss and Insight into Its Pathogenesis.	Journal of clinical medicine　2022.10	Review
130	船井　和仁	医学科 外科学第一講座（心臓血管・呼吸器・一般（内視鏡）・乳腺外科学分野）	Usefulness of a temporary shunt by cannulation during superior vena cava combined resection.	General thoracic and cardiovascular surgery　2022.7	Original Article
131	坊岡　英祐	第二外科	Usefulness of Procalcitonin as a Predictor of Long-Term Prognosis in the Early Postoperative Period after Esophagectomy for Esophageal Cancer.	Journal of clinical medicine　2022.6	Original Article

132	本家　淳子	寄附講座 周術期等生活機能支援学講座	Usefulness of wearable fitness tracking devices in patients undergoing esophagectomy.	Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society 2022.4	Original Article
133	芳澤　暢子	放射線科	Water and lipid content of breast tissue measured by six-wavelength time-domain diffuse optical spectroscopy.	Journal of biomedical optics 2022.10	Original Article

計133件

（注）1　当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2　報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。）

3　「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4　「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5　「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）; 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
（出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月（オンライン掲載月）の後に（オンライン）と明記すること）。
記載例：　Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9　/　Lancet. 2015 Dec（オンライン）

6　「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	上野　大蔵	寄附講座 地域周産期医療学講座	抗VEGF療法による新しい未熟児網膜症治療の経験	浜松医科大学小児科学雑誌	Original Article
2	杉村　友紀	形成外科	手足の皮膚悪性腫瘍に対するわれわれの手術法	skin cancer	Original Article
3	福地　健祐	皮膚科	Sweet症候群の経過中に多形紅斑型薬疹を続発し診断と治療に苦慮した1例	日本皮膚科学会雑誌	Original Article
4	藤山　俊晴	皮膚科	ビタミンB12欠乏症に伴った多彩な神経症状と舌炎	Visual Dermatology	Original Article
5	市川　新太郎	医学科 放射線診断学講座	[Imaging findings of intra-pancreatic distal cholangiocarcinoma and pancreatic ductal adenocarcinoma].	Nihon Shokakibyo Gakkai zasshi = Th	Original Article
6	本家　淳子	寄附講座 周術期等生活機能支援学講座	「栄養と看護」研究的視点でとらえるために必要なこと～自身の研究課題を言語化するために～　食道切除術後の回復促進をめざした患者支援の有用性と今後の課題	学会誌JSPEN	Original Article
7	鈴木　一有	寄附講座 産婦人科地域医療学講座	【Controversies in perinatology 2023 産科編】妊娠中の頸管ポリープ　待機的な立場からの取り扱い	周産期医学	Original Article
8	内田　季之	中央診療施設（診療部門） 周産母子センタ	【いま一番新しい帝王切開のケア 助産師が押さえておきたい11のこと】創部のケア　感染を防止して長期的に美しく	ペリネイタルケア	Original Article
9	大江　慎	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	【レジデントが知るべき整形外科基本手技】身体診察・手技　脊椎の診察・手技	関節外科	Original Article
10	有馬　秀幸	次世代創造医工情報教育センター	【医工連携と腰痛】歩行解析および体幹下肢筋活動評価を用いた成人脊柱変形の病態解明と臨床評価	脊椎脊髄ジャーナル	Original Article
11	竹内　一隆	耳鼻咽喉科	【帰しちゃいけない! 外来診療のピットフォール】本当はこわい頭頸部疾患 咽頭痛　急性喉頭蓋炎/扁桃周囲膿瘍/咽後膿瘍/口腔底蜂巣炎(Ludwigアンギナ)/Lemierre症候群/咽頭異物	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Original Article
12	後藤　大樹	第一内科	【急性腎障害(AKI)】AKIの病態とその対応　感染症とAKI	腎と透析	Original Article
13	岩倉　考政	第一内科	【急性腎不全(ARF)から急性腎障害(AKI)へ】AKIの薬物治療の現状	日本医師会雑誌	Original Article
14	堀田　健介	中央診療施設（診療部門） 救急部	【股関節鏡視下手術の適応と限界】股関節滑膜骨軟骨腫症に対する股関節鏡視下手術の適応と限界	整形・災害外科	Original Article
15	坂野　友啓	寄附講座 森町地域包括ケア講座	【腰椎椎間板ヘルニアのCutting Edge】コンドリアーゼを用いた椎間板内治療	臨床整形外科	Original Article

16	伊藤　泰介	医学科 皮膚科学講座	【今すぐできる!多職種連携によるアトピー性皮膚炎診療】(Part3)最前線からの報告　患者を支える地域と医療の力　小児アトピー性皮膚炎患者の脱毛症管理のコツ	Visual Dermatology	Original Article
17	秋永　智永子	医学科 麻酔・蘇生学講座	【助産師主導の無痛分娩ベーシックガイド　麻酔で分娩介助はどう変わる?】背骨を制するものは、麻酔を制す!?　助産師に必要な麻酔の解剖学	ペリネイタルケア	Original Article
18	宮入　烈	医学科 小児科学講座	【小児COVID-19関連多系統炎症性症候群(MIS-C/PIMS)の診療】MIS-C/PIMSの病態	医学のあゆみ	Original Article
19	福田　冬季子	寄附講座 浜松成育医療学講座	【小児疾患診療のための病態生理3　改訂第6版】先天代謝異常　糖原病　肝型糖原病を中心に	小児内科	Original Article
20	伊藤　泰介	医学科 皮膚科学講座	【食生活と皮膚疾患-どのように食事指導するか?】(Part2.)栄養素不足/食生活が原因となる皮膚疾患(case 3)晩発性皮膚ポルフィリン症	Visual Dermatology	Original Article
21	福田　冬季子	寄附講座 浜松成育医療学講座	【成人患者における小児期発症慢性疾患】成人期における主な小児期発症疾患の病態・管理　先天代謝異常　糖原病	小児内科	Original Article
22	志田　龍太郎	第一内科	【尿細管と腎線維化】臨床と病理　腎線維化のバイオマーカー	腎と透析	Original Article
23	鈴木　一有	寄附講座 産婦人科地域医療学講座	【分娩・産褥・新生児の緊急アクション11　フローチャートで動きが分かる!カスタマイズできるミニブック付き】胎児遷延性徐脈への対応	ペリネイタルケア	Original Article
24	大村　威夫	寄附講座 森町地域包括ケア講座	【末梢神経-Current Concept in 2022】末梢神経再生の基礎　神経細胞体におけるintrinsic growth	整形・災害外科	Original Article
25	船井　和仁	医学科 外科学第一講座（心臓血管・呼吸器	COPD合併肺癌の外科治療　COPD合併肺癌の外科治療	日本胸部外科学会定期学術集会	Original Article
26	関原　圭吾	第一外科	COVID-19肺局所への重症化メカニズムを探る　長期ECMO治療を行った重症COVID-19の剖検例	日本集中治療医学会雑誌	Original Article
27	杉山　洸裕	第二外科	Crohn病におけるKONO-S式吻合の長期成績	日本消化器外科学会総会	Original Article
28	紫藤　洋二	医学科 整形外科学講座	Denosumabは導入投与早期に骨巨細胞腫腫瘍内の骨化を生じる　大腿骨近位発生GCT再発の1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
29	紫藤　洋二	医学科 整形外科学講座	Denosumabは導入投与早期に骨巨細胞腫腫瘍内の骨化を生じる　大腿骨近位発生骨巨細胞腫再発の一例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
30	赤井　俊也	第二外科	Encorafenib+Binimetinib+Cetuximab併用療法を行ったBRAF V600E変異陽性転移性大腸癌	日本消化器外科学会総会	Original Article
31	竹内　裕也	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）	LECS(腹腔鏡下内視鏡合同手術)の応用を考える　胃癌に対する腹腔鏡内視鏡合同手術の課題と展望	日本外科系連合学会誌	Original Article
32	森田　剛文	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）	mALBI gradeは大腸癌肝転移切除後の無再発生存期間を予測する因子となる	日本消化器外科学会総会	Original Article

33	羽田　綾馬	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科	Oligometastasisに対し外科的切除で長期生存を得た食道癌の一例	日本臨床外科学会雑誌	Original Article
34	清水　雄太	整形外科	Pilon骨折術後感染性偽関節に対しMasquelet法を併用し足関節固定術を施行した一例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
35	中西　啓	耳鼻咽喉科	Zona pellucidaドメインのTECTA遺伝子変異により発症した非症候群性染色体優性遺伝性難聴家系における聴力像の解析　特徴的な皿型オージオグラムの加齢性変化	Audiology Japan	Original Article
36	三澤　清	医学科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	エピゲノム異常と頭頸部がん	耳鼻咽喉科臨床	Original Article
37	谷口　美づき	麻酔科蘇生科	カルバマゼピンで薬疹を引き起こした三叉神経痛患者に対し五苓散が著効した1症例	日本ペインクリニック学会誌	Original Article
38	堀田　喜裕	医学科 眼科学講座	ゲノム医療をめざして　眼遺伝学の研究と臨床	日本眼科学会雑誌	Original Article
39	花田　充	卒後教育センター	シャルコー足に対する関節固定術後の癒合率の検討	日本足の外科学会雑誌	Original Article
40	堀田　健介	中央診療施設（診療部門）救急部	トラッカー固定ピン刺入孔に起因したナビゲーションTKA術後の大腿骨骨幹部骨折の一例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
41	井出　浩一郎	整形外科	ロコモ度3の介護認定リスク	日本整形外科学会雑誌	Original Article
42	坊岡　英祐	第二外科	ロボット支援下胸部食道切除術の術後短期成績の検討	外科と代謝・栄養	Original Article
43	菊池　寛利	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）	ロボット特有の手技を活かした食道癌手術　根治性と安全性の向上を目指したロボット支援胸腔鏡下食道切除術	日本胸部外科学会定期学術集会	Original Article
44	伊東　宏晃	医学科 産婦人科学講座	わが国における妊婦の栄養管理の歴史　2021年新たな妊婦の体重増加指導の目安策定までの変遷	日本女性栄養・代謝学会誌	Original Article
45	竹内　裕也	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）	胃癌センチネルリンパ節理論の検証と臨床応用	リンパ学	Original Article
46	平松　良浩	寄附講座 周術期等生活機能支援学講座	胃癌に対するSentinel node navigation surgery	日本消化器外科学会総会	Original Article
47	森田　剛文	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）	右胃大網動脈を用いた冠動脈バイパス術後に腹腔鏡下肝S4a亜区域切除を施行した一例	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
48	堀田　健介	中央診療施設（診療部門）救急部	臼底に巨大な結節を伴う股関節滑膜骨軟骨腫症に対して関節鏡下手術を施行した一例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
49	伊藤　泰介	医学科 皮膚科学講座	円形脱毛症の疾病負担	日本皮膚科学会雑誌	Original Article

50	古森　美和	医学科 眼科学講座	下斜筋前方鼻側移動術を行った5例	眼科臨床紀要	Original Article
51	山田　智裕	整形外科	加齢による腰椎局所前彎角の変化と椎間板変性の関連　年代別腰椎ドック横断調査から	日本整形外科学会雑誌	Original Article
52	杉浦　喜一	第一内科	家族性大腸腺腫症に合併した胃癌の検討	日本消化器病学会雑誌	Original Article
53	宜野座　淳善	皮膚科	乾癬様皮疹を呈した慢性移植片対宿主病の1例	日本皮膚科学会雑誌	Original Article
54	加藤　孝喜	整形外科	患肢温存手術を行った手原発軟部肉腫の1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
55	安田　日出夫	第一内科	急性腎障害の適切な腎代替療法を考える	日本透析医会雑誌	Original Article
56	菊池　寛利	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）	胸腔鏡下食道切除術におけるロボット支援下手術の有用性	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
57	羽田　綾馬	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）	胸腔鏡下食道切除術後の循環動態が感染性合併症発症に与える影響	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
58	北内　裕里恵	皮膚科	胸部から右肩関節へ連続する膿瘍を呈した皮膚腺病の1例	日本皮膚科学会雑誌	Original Article
59	坊岡　英祐	第二外科	胸部食道癌に対する胸腔鏡下食道切除術およびロボット支援下食道切除術の有用性	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
60	石田　夏樹	光学医療診療部	興味深い形態を呈した胃神経内分泌腫瘍の1例	胃と腸	Original Article
61	杉山　洸裕	第二外科	空置大腸に再燃を来した高齢潰瘍性大腸炎大腸全摘の1例	日本臨床外科学会雑誌	Original Article
62	関森　健一	第二外科	経裂孔的アプローチで腹腔鏡下に腫瘍核出術を施行した食道重複嚢胞の2例	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
63	星野　裕信	医学科 整形外科学講座	軽度寛骨臼形成不全における円靱帯の股関節static instabilityへの関与	日本整形外科学会雑誌	Original Article
64	吉田　剛	医学科 整形外科学講座	健常高齢者の座位全脊柱アライメントとHRQOL　良好な座位姿勢が重要	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
65	関原　圭吾	第一外科	呼吸器外科医による感染症ICU運営と重症COVID-19の治療経験	日本呼吸器外科学会雑誌	Original Article
66	堀田　健介	中央診療施設（診療部門）救急部	固有の膝関節面内方傾斜と膝関節内反アライメントは変形性膝関節症の進行と関係がある　TOEI studyによる8年間の縦断研究	日本整形外科学会雑誌	Original Article

67	松山　幸弘	医学科 整形外科学講座	腰椎椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼ　適応症例、手技、そして長期成績	日本ペインクリニック学会誌	Original Article
68	坂野　友啓	寄附講座 森町地域包括ケア講座	腰椎椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼ治療の2年成績	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
69	坂野　友啓	寄附講座 森町地域包括ケア講座	腰椎椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼ治療の2年成績　椎間板変性に着目して	日本整形外科学会雑誌	Original Article
70	増田　文郎	救急部	骨塩量低値の変形性股関節症の特徴	Hip Joint	Original Article
71	星野　裕信	医学科 整形外科学講座	骨盤・脊椎アライメントに配慮した人工股関節手術　脊椎矯正固定術が必要な患者に対する人工股関節治療戦略	日本関節病学会誌	Original Article
72	谷口　美づき	麻酔科蘇生科	産科危機的出血への対応ガイドラインの改定　分娩直後の出血への全身麻酔	日本臨床麻酔学会誌	Original Article
73	木村　哲朗	医学科 麻酔・蘇生学講座	手術室外での緊急気道確保「その時、あなたは、動く?」 手術室外で声門上器具を活用するために	日本臨床麻酔学会誌	Original Article
74	松本　知拓	第二外科	集学的治療によって長期生存を得た食道癌Oligometastasisの一例	日本胸部外科学会定期学術集会	Original Article
75	松本　知拓	第二外科	十二指腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
76	寺本　麻友子	周産母子センター	重症頸管無力症に対して妊娠初期で腹腔鏡下子宮峡部縫縮術を施行した2例	日本周産期・新生児医学会雑誌	Original Article
77	杉浦　香織	整形外科	重度肘部管症候群における術後予後予測因子の検討	末梢神経	Original Article
78	吉田　剛	医学科 整形外科学講座	術中神経根障害は経頭蓋刺激筋誘発電位で感知できるのか　カニクイザル神経根結紮モデルを用いた検討	日本整形外科学会雑誌	Original Article
79	井田　進也	第二外科	小児に発症した95mmのSPNに対して腹腔鏡手術を施行した1例	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
80	黒住　和彦	医学科 脳神経外科学講座	小児脳神経外科領域におけるナビゲーションや内視鏡を用いたmultimodality手術	小児の脳神経	Original Article
81	松本　知拓	第二外科	食道癌におけるOligometastasisに対する治療戦略	日本消化器外科学会総会	Original Article
82	川田　三四郎	第二外科	食道癌に対するチーム医療の発展と成績向上	日本消化器外科学会総会	Original Article
83	竹内　裕也	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）	食道癌に対する低侵襲手術のエビデンス　食道癌に対する胸腔鏡手術とロボット支援手術の現状と展望	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article

84	羽田　綾馬	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）	食道癌術後経腸栄養中の下痢が骨格筋量に与える影響	日本消化器外科学会総会	Original Article
85	坊岡　英祐	第二外科	食道癌術後長期予後予測因子としてのプロカルシトニンの有用性	日本消化器外科学会総会	Original Article
86	菊池　寛利	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科学分野）	食道切除胃管再建術における至適再建経路の選択と合併症低減に向けた試み	日本消化器外科学会総会	Original Article
87	松本　知拓	第二外科	食道粘膜下腫瘍に対する内視鏡下腫瘍核出術の選択	日本胸部外科学会定期学術集会	Original Article
88	村上　智洋	第二外科	食道扁平上皮癌における腫瘍細胞のPD-L1発現量低下は無再発生存期間に関する独立した予後不良因子である	日本胸部外科学会定期学術集会	Original Article
89	紫藤　洋二	医学科 整形外科学講座	浸潤性軟部肉腫(UPS:未分化多型肉腫、MFS:粘液線維肉腫)の患肢温存術後の局所制御および予後	日本整形外科学会雑誌	Original Article
90	大村　威夫	寄附講座 森町地域包括ケア講座	神経移植術後における成績不良例の検討	末梢神経	Original Article
91	花田　充	卒後教育センター	人工膝関節全置換術において生じた膝窩動脈損傷により生発生した仮性動脈瘤の1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
92	増田　文郎	救急部	人工膝関節単顆置換術後1年以降の屈曲可動域の推移	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
93	大和　雄	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	成人脊柱変形に対する腰椎側方進入椎体間固定後の大腰筋血腫の検討	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
94	黒須　健太	整形外科	成人脊柱変形患者と住民検診受診者の座位-立位立ち上がり動作解析	日本整形外科学会雑誌	Original Article
95	松山　幸弘	医学科 整形外科学講座	整形外科からみた間欠性跛行のとらえ方　血管外科との違い	日本血管外科学会雑誌	Original Article
96	長谷川　智彦	整形外科	脊髄腫瘍との画像鑑別が困難であった硬膜外血腫の1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
97	黒須　健太	整形外科	脊髄髄内腫瘍手術における経頭蓋刺激筋誘発電位術中モニタリング true positive症例の検討	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
98	竹内　祐貴	第一外科	仙腸関節不安定症に対し手術治療を行ったEhlers Danlos症候群の1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
99	野本　一希	整形外科	前十字靱帯および内側側副靱帯、内側半月板断裂に合併した内側膝蓋大腿靱帯断裂の1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
100	花田　充	卒後教育センター	前十字靱帯損傷後の膝関節変形性変化進行の要因	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article

101	大和　雄	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	全身のアライメントを考える　胸腰椎から全身のアライメントを考える	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
102	中川　雅裕	形成外科	鼠径部の難治性リンパ漏に対して顕微鏡下にリンパ漏開口部のZ縫合とリンパ嚢胞被膜弁の被覆にて治癒した1例	形成外科	Original Article
103	平松　良浩	寄附講座 周術期等生活機能支援学講座	早期退院時代の消化器がん周術期栄養管理のニューノーマルand MIRAI　食道癌周術期管理の現在と未来	学会誌JSPEN	Original Article
104	川田　三四郎	第二外科	体組成測定のMIRAI-実臨床への活用-　食道癌術前治療前後のPhase Angleの変化	学会誌JSPEN	Original Article
105	鈴木　美沙子	周産母子センター	胎生期低栄養環境と生後のCatch-up growthが起こす脂肪組織の遺伝子発現変化の検討	日本周産期・新生児医学会雑誌	Original Article
106	上田　めぐみ	周産母子センター	胎生期低栄養環境に引き続く生後の急速なCatch-up growthが脂肪組織に及ぼす遺伝発現の解析	日本周産期・新生児医学会雑誌	Original Article
107	立田　協太	第二外科	大腸全摘・回腸嚢肛門管吻合術後に残存直腸癌を認めた家族性大腸腺腫症3症例	日本臨床外科学会雑誌	Original Article
108	伊藤　泰介	医学科 皮膚科学講座	達人に聞く!脱毛症診療のコツと工夫抜いて診断!病態理解に基づく診療のこつ	日本臨床皮膚科医会雑誌	Original Article
109	伊藤　泰介	医学科 皮膚科学講座	脱毛症治療の工夫と展望	日本皮膚科学会雑誌	Original Article
110	伊藤　泰介	医学科 皮膚科学講座	脱毛巣50%以上の円形脱毛症に対するritlecitinibの有効性と安全性 ALLEGRO Phase 2b/3国際共同試験	日本皮膚科学会雑誌	Original Article
111	阪田　麻裕	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科	地方大学病院における若手・女性内視鏡外科医育成プログラム	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
112	古川　瀬里	皮膚科	直腸癌から生じた二次性乳房外Paget病の1例	日本皮膚科学会雑誌	Original Article
113	阪田　麻裕	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科	潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下大腸全摘術の現状	日本消化器外科学会総会	Original Article
114	竹内　裕也	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科	低侵襲食道癌手術における専門医制度:食道外科専門医vs技術認定医食道外科専門医vs技術認定医　技術認定医試験のポイント	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
115	関原　圭吾	第一外科	当院ICUにおける人工呼吸器関連肺炎(VAP)予防バンドルの臨床効果	日本集中治療医学会雑誌	Original Article
116	黒須　健太	整形外科	当院での転移性骨腫瘍早期発見・治療に対する試み	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
117	船井　和仁	医学科 外科学第一講座（心臓血管・呼吸器・一般（内視鏡）・乳腺外科学分野）	当科でのOligometastatic disease(同時性単発脳転移症例)の治療戦略	肺癌	Original Article

118	立田　協太	第二外科	当科におけるMMRPに対する免疫染色を用いたリンチ症候群ユニバーサルスクリーニングの現状	日本消化器外科学会総会	Original Article
119	古橋　弘基	整形外科	当科のSalter骨盤骨切り術の治療成績	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
120	加藤　明彦	中央診療施設（診療部門）血液浄化療法部	透析患者における栄養障害(Protein-energy wasting)	日本腎臓リハビリテーション学会誌	Original Article
121	中井　慶一	整形外科	透明化手法を用いた脊髄リンパ管様構造の解析	日本整形外科学会雑誌	Original Article
122	中川　雅裕	形成外科	頭頸部癌治療の機能温存と治療連携　頭頸部癌治療における多職種チーム医療と形成外科の役割	頭頸部癌	Original Article
123	坂野　友啓	寄附講座 森町地域包括ケア講座	特発性側彎症Lenke type 1,2に対するVertebral Coplanar Alignment法rod rotation法との比較	Journal of Spine Research	Original Article
124	市川　新太郎	医学科 放射線診断学講座	読影レポートLesson　肝胆膵脾編 肝腫瘤	画像診断	Original Article
125	坊岡　英祐	第二外科	内視鏡外科手術時代における開胸手技の意義　開胸食道切除術を胸腔鏡下さらにロボット支援下手術にいかに生かすか	日本胸部外科学会定期学術集会	Original Article
126	小嶋　忠浩	第二外科	内側アプローチ変法による腹腔鏡下回盲部切除術　修練医執刀症例における安全性の検討	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
127	青木　善孝	中央診療施設（診療部門）集中治療部	日本版敗血症診療ガイドライン2020の使用状況と認知度に関するアンケート調査	日本救急医学会雑誌	Original Article
128	青木　善孝	中央診療施設（診療部門）集中治療部	日本版敗血症診療ガイドライン2020の使用状況と認知度に関するアンケート調査	日本集中治療医学会雑誌	Original Article
129	北内　裕里恵	皮膚科	妊娠を契機に増悪し、早産に至った膿疱性乾癬	日本皮膚科学会雑誌	Original Article
130	山田　智裕	整形外科	年代男女別椎体間可動域の特徴健常ボランティア腰椎ドックから	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
131	鈴木　克徳	第二外科	脳室腹腔シャント造設術における腹腔鏡下腹腔側チューブ留置術の経験	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
132	羽田　綾馬	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科	抜管時動肺コンプライアンスの食道切除術後における臨床的意義	日本胸部外科学会定期学術集会	Original Article
133	佐野　真規	第二外科	皮下脂肪細胞のリンパ浮腫病態への関与	リンパ学	Original Article
134	立田　協太	第二外科	肥満度が腹腔鏡下大腸癌切除術の手術成績に与える影響について	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article

135	牧野　光将	第二外科	非大腸癌非GIST非NETの肝oligometastasisに対する肝切除成績の検討	日本消化器外科学会総会	Original Article
136	大江　慎	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	非定型慢性炎症性脱髄性多発神経炎に合併したIntraneural Malignant Perineuriomaによる頸髄症の治療経験	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
137	牧野　光将	第二外科	腹腔鏡下手術により切除し得た脾臓のChronic expanding hematomaの一例	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
138	村上　智洋	第二外科	腹腔鏡下幽門側胃切除術後に高度体重減少を起こす症例の臨床的特徴	日本内視鏡外科学会雑誌	Original Article
139	村上　智洋	第二外科	噴門側胃切除術後の再建法の臨床的・機能的特徴に関する検討	日本消化器外科学会総会	Original Article
140	杉浦　香織	整形外科	末梢神経軸索伸長におけるtaf71の関与	日本整形外科学会雑誌	Original Article
141	高梨　裕典	第一外科	免疫染色で診断困難な肺癌小検体における脂質プロファイルを用いた組織型診断　腺癌と扁平上皮癌の鑑別	肺癌	Original Article
142	伊藤　泰介	医学科 皮膚科学講座	毛髪医療の未来予想図2022　円形脱毛症治療の近未来	Aesthetic Dermatology	Original Article
143	井出　瑠衣	周産母子センター	羊水塞栓症における臓器特異的アナフィラクトイド反応の病理学的検討	日本周産期・新生児医学会雑誌	Original Article
144	大村　威夫	寄附講座 森町地域包括ケア講座	腓腹神経移行により足底の感覚再建を行った1例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
145	村木　隆太	第二外科	膵頭十二指腸切除を施行した膵癌患者におけるIMACの意義	日本消化器外科学会総会	Original Article
146	武田　真	医学科 外科学第二講座（消化器・血管外科	膵頭十二指腸切除術における周術期管理変更とsurgical site infectionの予防効果	日本消化器外科学会総会	Original Article
147	井田　進也	第二外科	膵頭十二指腸切除術後の仮性動脈瘤形成の予測因子とVIABAHNの有用性の検討	日本消化器外科学会総会	Original Article
148	飯嶋　重雄	寄附講座 地域周産期医療学講座	臍肉芽腫の病態・診断・治療・予防これまでわかっていること	浜松医科大学小児科学雑誌	Original Article
149	山口　智子	麻酔科蘇生科	芍薬甘草湯を中心とした漢方治療が有効だった前皮神経絞扼症候群の2症例	日本ペインクリニック学会誌	Original Article
150	大江　慎	寄附講座 長寿運動器疾患教育研究講座	頸椎手術計画時から手術までの間の栄養状態の自然経過の調査	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Original Article
151	望月　大極	耳鼻咽喉科	頸動脈破裂に対して血管内治療を行った頭頸部癌2症例	頭頸部癌	Original Article

計151 件

（注）1　　当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　　記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

（様式第 3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	有・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・　手順書の主な内容 ア　倫理委員会の役割・責務等 イ　倫理委員会の業務 ウ　倫理委員会の運営 エ　倫理委員会における審査 オ　倫理委員会事務局の業務	
③　倫理審査委員会の開催状況	年12回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に〇印を付けること。
　　2　前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・　規定の主な内容 ア　利益相反マネジメントの目的・対象・対象者 イ　利益相反マネジメント委員会の設置・審議事項・組織 ウ　利益相反マネジメントのための調査方法 エ　審議、勧告、決定等の手続き オ　臨床研究に関する調査等 カ　研修・啓発活動	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年5回

（注）前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年19回

・研修の主な内容

ア　臨床研究の倫理
イ　人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針
ウ　臨床研究に関する法規制
エ　臨床研究における研究不正と行動規範
オ　臨床試験の計画と準備、実施医療機関の組織と運用
カ　被験者の募集、組み込みと参加継続
キ　臨床研究とデータサイエンス

（注）前年度の実績を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

小児科プログラム、皮膚科プログラム、精神科プログラム、放射線科プログラム、病理プログラム、臨床検査プログラム、内科プログラム、家庭医療プログラム、整形外科プログラム、産婦人科プログラム、眼科プログラム、耳鼻咽喉科・頭頚部外科プログラム、泌尿器科プログラム、脳神経外科プログラム、麻酔科プログラム、救急科プログラム、形成外科プログラム、リハビリテーション科プログラム、外科プログラム、口腔外科専門医取得プログラム

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	98　人

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
杉本　健	第一内科	教授	30年	
須田　隆文	第二内科	教授	37年	
前川　裕一郎	第三内科	教授	28年	
山末　英典	精神科神経科	教授	25年	
宮入　烈	小児科	教授	28年	
椎谷　紀彦	第一外科	教授	39年	
竹内　裕也	第二外科	教授	31年	
黒住　和彦	脳神経外科	教授	26年	
松山　幸弘	整形外科	教授	35年	
本田　哲也	皮膚科	教授	23年	
三宅　秀明	泌尿器科	教授	30年	
堀田　喜裕	眼科	教授	40年	
三澤　清	耳鼻咽喉科	教授	28年	
伊東　宏晃	産科婦人科	教授	37年	
五島　聡	放射線科	教授	23年	
中村　和正	放射線科	教授	35年	
中島　芳樹	麻酔科蘇生科	教授	36年	
増本　一真	歯科口腔外科	教授	29年	（歯科医師免許：29年）
山内　克哉	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科	准教授	29年	
中川　雅裕	形成外科	特任教授	32年	
乾　直輝	臨床薬理内科	教授	30年	
岩泉　守哉	検査部	准教授	23年	
馬場　　聡	病理部	准教授	38年	
吉野　篤人	救急部	教授	37年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 看護部は、社会のニーズに応えられる大学病院の看護専門職として、倫理に基づいた、質の高い看護を提供できる創造性のある看護職の育成を目指して、研修を行っている。5段階のキャリアラダーを導入しており、各ラダーに求められる能力（看護実践能力・組織的役割遂行能力・自己教育研究能力）の習得を目標にラダー別の研修を実施している。その他に、院内認定静脈注射研修、院内認定がん看護専門教育コース、院内認定倫理コーディネーター養成コースの研修を実施している。また、全職員を対象とした、BLS、ICLS、講演会等も実施している。 **・研修の期間・実施回数** 令和4年4月～5年3月 看護部研修：272研修　　延べ研修時間　582時間 **・研修の参加人数** 看護部研修：延べ　7114人
②　業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ①がん看護教育コース ②他施設新人看護職員研修 ③管理研修：職場管理上の課題解決 **・研修の期間・実施回数** ①全8回コース　延べ12時間 ②全2回コース　延べ12時間 ③全4回コース　延べ14時間

・研修の参加人数

①　13人

②　65人

③　14人

（注）1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。
（注）2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

（様式第 5）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	１．計画　　②．現状
管理責任者氏名	松山　幸弘
管理担当者氏名	総務課長：根木忠広／人事課長：髙井修逸／医事課長：山口誠 薬剤部長：川上純一／放射線部長：中村和正／手術部長・医療機器管理部長：中島芳樹 看護部長：佐々木菜名代／診療情報管理部長：前川裕一郎

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医事課	全科電子カルテを導入。カルテは、一患者1ＩＤとし、入院及び外来ともに診療情報室において保存管理している。診療録の院外持ち出しは禁止している。
		各科診療日誌	医事課	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	医事課	
		看護記録	医事課	
		検査所見記録	医事課	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	医事課	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課・医事課	
		高度の医療の研修の実績	医事課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課･医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課･医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課･医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課･医療安全管理室	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課・感染対策室	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課・感染対策室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課・感染対策室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課・感染対策室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器管理部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医事課・医療安全管理室	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課・感染対策室	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課・診療情報管理部	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課・診療情報管理部	
		医療安全管理部門の設置状況	医事課・医療安全管理室	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課・医療安全管理室	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部	
		監査委員会の設置状況	医事課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医事課・医療安全管理室	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課・医療安全管理室	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課・医療安全管理室	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課・医療安全管理室	
		職員研修の実施状況	医事課・医療安全管理室	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課・医療安全管理室	
		管理者が有する権限に関する状況	医事課・人事課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	企画評価課	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

（様式第6）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画　　②. 現状
閲覧責任者氏名	事務局次長（総務・教育担当）　髙木　雅弘
閲覧担当者氏名	総務課長　髙木　雅弘
閲覧の求めに応じる場所	・総務課情報公開室
閲覧の手続の概要 独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成13年法律第140号）に基づき、国籍、住所、年齢、個人及び法人を問わず、浜松医科大学の保有する法人文書の開示を請求することができる。開示請求を受理してから、30日以内（請求の内容によってはそれ以上の日数を要する場合もある。）に開示又は不開示を決定し、開示請求者に通知する。開示請求者が開示の実施申出において閲覧を選択した場合、当該諸記録の閲覧ができる。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　0　件
閲覧者別	医師	延　0　件
	歯科医師	延　0　件
	国	延　0　件
	地方公共団体	延　0　件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第１条の11第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・　指針の主な内容： １安全管理に関する基本的な考え方 ２医療に係る安全管理のための委員会その他組織に関する基本的事項 ３医療に係る安全教育のための職員研修に関する基本方針 ４事故報告の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ５医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ６職員と患者との間の情報共有に関する基本方針 ７患者からの相談への対応に関する基本方針 ８その他医療安全の推進のための必要な基本方針	
②　医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・　設置の有無（(有)・無　） ・　開催状況：年　12　回 ・　活動の主な内容： 医療安全管理体制の確保に関すること 医療事故等の把握、分析、対処改善、評価及び見直しに関すること 医療に係る安全管理のための職員の研修に関すること その他の医療の安全管理に関すること	
③　医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年　6　回
・　研修の内容（すべて）： 【医療安全講習会】 ２回（全職員対象） 【職種・部署別】 新採用職員ガイダンス：1回、新採用看護師研修：2回 看護師採用時研修：e-learning、看護助手採用時研修：e-learning 、 看護助手研修：1回、静脈注射院内認定看護師研修：e-learning 新採用・中途採用職員（看護部職員以外）：e-learning 看護職員（育休復帰者）：e-learning	
④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医療機関内における事故報告等の整備　（(有)・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： 収集した情報をもとに、A)外部参加型事例調査、B）院内事例調査、C）M&Mカンファレンス、D)部署内検証レビュー、E)医療安全管理室のカンファレンス、F)医師並びに看護師GRMが検証、G)検証不要に分類し必要なスタッフで事例検証し、問題点を分析し、改善策を立案し、現場スタッフにフィードバックしている。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①　院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： １．院内感染対策に関する基本的な考え方 ２．院内感染対策に関する管理組織機構 ３．従業者研修に関する基本方針 ４．感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ５．アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針 ６．患者等への情報提供と説明に関する基本方針 ７．感染対策に関する地域医療機関との連携 ８．その他院内感染対策及び抗菌薬適正使用推進のための基本方針	
②　院内感染対策のための委員会の開催状況	年　12　回
・ 活動の主な内容： １．院内感染対策の検討・推進 ２．院内感染防止の対応及び原因究明 ３．院内感染等の情報収集及び分析（抗菌薬の使用状況、分離菌種などの情報を含む） ４．院内感染防止策及び抗菌薬適正使用等に関する従業者の教育・研修 ５．従業者の感染管理 ６．その他院内感染対策に関する事項	
③　従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年　19　回
・ 研修の内容（すべて）： 【院内感染対策講習会】 ３回（全職員対象） 【職種・部署別】 研修医ガイダンス 1回（感染対策実習：手洗い、安全装置付き針の取り扱い） 新採用・中途採用職員への感染対策講習：計353名（医師157 名、研修医 22 名、看護師 97 名、コメディカル 47 名、事務 30 名） 受託実習生感染対策講習： 計 7部署　76 名　（リハビリテーション部、放射線部、救命救急士、視能訓練士、医療福祉支援センター、医療機器管理部、栄養部） 新採用看護師研修 1回 81名 部署別感染対策勉強会： 1回（3階東病棟） 【委託・派遣業者】 委託・派遣職員感染対策講習：　6回（清掃業者、看護助手）	
④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備　（(有)・無　） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ICTラウンド（週1回）、病棟環境ラウンドおよびサニタリーラウンドによる感染対策の実施状況および環境整備の確認 ・耐性菌発生状況の把握とアウトブレイク介入基準に基づく介入、および血液培養陽性患者の把握と評価 ・広域抗菌薬、抗MRSA薬、抗真菌薬使用患者のモニタリングと抗菌薬適正使用の評価 ・感染対策に関する介入を要した事例の部署別ミーティングの実施 ・院内Web内の感染対策ホームページへの掲載、ICT NEWSの発行、感染対策情報の回覧等による感染情報の提供 ・院内感染対策ポケットマニュアルの配布 ・新型コロナウイルス感染症対策会議の開催	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第２号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年　2　回
・　研修の主な内容：医薬品に関わる有害作用および医薬品適正使用 医薬品の有害作用・有効性評価に必要な採血手順について 病棟におけるノルアドレナリン投与とモニタリング方法について 内視鏡における鎮静薬投与に関する安全管理体制	
③　医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・　手順書の作成　（(有)・無　） ・　手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 各部門にあわせたチェックシートによる医薬品安全管理・使用の確認	
④　医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医薬品に係る情報の収集の整備　（(有)・無　） ・　未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： ・中心静脈カテーテル抜去困難な小児のカテーテル関連血流感染症に対するバンコマイシンによるカテーテルロック療法 ・末梢血管ルート挿入困難患者のビタミン補充を目的したビタメジンの皮下投与 ・　その他の改善のための方策の主な内容： ・薬剤師による処方監査・処方確認および入院患者への処方確認時に使用目的を確認し、必要に応じて疑義照会および処方確認を実施している。 ・病棟担当薬剤師が病棟での診療科カンファレンスに参加し患者の薬物治療について情報を収集し、適応外使用の可能性がある場合には医薬品安全管理室や医薬品情報管理室薬剤師とその都度情報を共有している。 ・適応外使用の予定がなされた場合、診療倫理委員会事務局から医薬品情報管理室へ個々の適応外使用のリスクについて相談する体制を取っている。医薬品情報管理室から病棟担当者や調剤室など関連する部門へ適応外使用の情報を共有している。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の11第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年　109　回
・　研修の主な内容： ７種の機種（本院は診療用粒子線照射装置を持たず）を含む医療機器の有効性や安全性、使用法、保守点検、不具合発生時の報告手順、法令上遵守すべき事項の確認を中心に実施した。	
③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・　医療機器に係る計画の策定　（(有)・無　） ・　機器ごとの保守点検の主な内容： 機器に添付される取り扱い説明書を元に、記載された点検項目に従い点検を実施した。	
④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医療機器に係る情報の収集の整備　（(有)・無　） ・　未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・　その他の改善のための方策の主な内容： ①　集中治療室（ICU）の24時間日当直体制を実施し、一般病棟を含む医療機器に関連した問い合わせの連絡があった場合には、直ちに対応可能な体制としている。 ②　待機当番を配置し、時間外対応や夜間祝日の緊急手術や緊急心臓カテーテル検査等への対応を実施している。 ③　病棟等で使用する人工呼吸器の使用中点検を中心に、各病棟を臨床工学技士が巡回している。 ④　各病棟から医療機器を回収するスタッフを配置し、使用終了直後に医療機器を回収し、効率よく医療機器を運用している。 ⑤　新規医療機器購入前から、医療機器管理部スタッフ1名以上が選定に関わり、安全性や操作性等について評価して購入を行っている。 ⑥　医療機器に関する安全情報を収集し、該当する医療機器があるかを確認している。該当する機器がある場合には、医療機器管理部スタッフから関連する多職種スタッフへ情報の周知や対応のアナウンスを実施している。 ⑦　新規医療機器に関する説明会を使用するスタッフへ広く受講できる様、e-learningシステムを積極的に活用している。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第９条の２０の２第１項第１号から第１３号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	(有)・無

・責任者の資格（医師・歯科医師）
・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況

「浜松医科大学医学部附属病院医療安全管理規程」を定め統括しています。

② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有)（ 5名）・無

③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況

・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況

・情報の整理は薬剤部医薬品情報管理室にて実施している。

・情報の周知は添付文書改訂の通知を定期的に実施している。また医薬品安全性情報等の通知および当該医師への伝達、DI ニュースの発行などを必要に応じて実施している。

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況

・未承認薬等による治療が必要になった場合、治療を実施する医師は薬剤部医薬品安全管理室あるいは薬剤部製剤室に照会する。また、病棟担当薬剤師が各部署への照会を仲介する体制もできている。

・病棟業務や調剤時などに薬剤師が確認した際は医師に疑義照会などを実施している。

・院内製剤は薬剤管理委員会（未承認新規医薬品の担当部門）にて承認を受ける。

・担当者の指名の有無（(有)・無）

・担当者の所属・職種：

（所属：薬剤部 ，職種 薬剤師 ）	（所属： ，職種 ）
（所属： ，職種 ）	（所属： ，職種 ）
（所属： ，職種 ）	（所属： ，職種 ）
（所属： ，職種 ）	（所属： ，職種 ）

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	(有)・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ (有)・無 ）

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：各診療科より3冊ずつピックアップしたサンプル調査を実施（サンプル対象は、手術を実施しICUを経過した比較的重症度が高いと思われる症例から抽出）、医療者の同席率とIC後の反応の記録について調査し、診療情報管理委員会にて報告を行った。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	(有)・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 全症例について、退院時要約、手術記録、入院診療計画書を確認。さらに多職種（医師、看護師、薬剤師、事務）による診療記録監査（入院診療計画書、診療録、看護記録、薬剤記録、退院時要約、手術記録、説明同意書）をサンプル調査にて実施。診療情報管理委員会にて報告を行った。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	(有)・無
・所属職員：専従（ 3 ）名、専任（ 3 ）名、兼任（ 10 ）名 うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ 0 ）名、兼任（ 5 ）名 うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ 1 ）名、兼任（ 0 ）名 うち看護師：専従（ 1 ）名、専任（ 1 ）名、兼任（ 1 ）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： 医療事故及びインシデントの収集、調査、分析に関すること。 医療事故防止対策の立案及び周知に関すること。 リスクマネージャーとの連絡調整に関すること。 医療事故防止に係る病院内の巡視・点検・評価に関すること。 医療事故防止に係る教育・研修・啓発の立案に関すること。 医療事故防止対策マニュアルの作成に関すること。 医療事故等に係る診療録等記載の確認、指導に関すること。 医療事故等に係る対応状況の確認、指導に関すること。 病院医療安全管理委員会の庶務に関すること。 医療安全に資する診療の状況の把握及び職員の医療安全の認識の状況の確認に関すること。 【モニタリングの具体例】 ・放射線診断重要レポートに対し検査を依頼した医師が対応したかのモニタリング ・中心静脈挿入時のチェックリスト ・コードブルー発生件数 ※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 2 件）、及び許可件数（ 2 件）	

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
・活動の主な内容：

病院で行う新規医療技術の導入の申請に対し倫理的・科学的妥当性について審査、確認及び事後検証を行う。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）
・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 0 件）、及び許可件数（ 0 件）
・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
・活動の主な内容：

当院では薬剤部・薬剤管理委員会を未承認新規医薬品等の担当部門としており、「当院で使用したことのない医薬品であって、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律における承認または認証を受けていないもの」の導入に際して、以下の項目について審査を行っている。

・当該未承認新規医薬品等と既存の医薬品とを比較した場合の優位性（予測される有害事象の重篤性、頻度等の安全性等の観点を含む。）
・未承認新規医薬品等の使用条件（使用する医師又は歯科医師の制限等）
・当該未承認新規医薬品等の使用に起因するものと疑われる有害事象の把握の方法（血液検査の実施、調査票の配布等）

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）
・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 （ 有・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年　287　件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年　61　件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

収集した情報をもとに、A)外部参加型事例調査、B）院内事例調査、C）M&Mカンファレンス、D)部署内検証レビュー、E)医療安全管理室のカンファレンス、F)医師並びに看護師GRMが検証、G)検証不要に分類し、必要なスタッフで事例検証、問題点を分析、改善策を立案し現場スタッフにフィードバックしている。

⑩　他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（（有）（病院名：　北海道大学病院　　）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（有）（病院名：香川大学医学部附属病院　）・無）

・技術的助言の実施状況

助言１：医療安全監査委員会の内容を開設者へ報告することが望ましい。

改　善：委員会議事要旨を開設者（学長）へ決裁書類にて報告することとした。

助言２：医療放射線安全管理責任者が医療安全監査委員会へ参加することが望ましい。

改　善：医療放射線安全管理責任者または代理者が医療安全監査委員会へ出席し、放射線安全管理に関する報告を行うこととした。

⑪　当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

医療安全患者相談窓口：医療安全管理室

責任者：医療安全管理室長

担当者：ゼネラルリスクマネージャー（ＧＲＭ）及び医事課医療安全推進係長

⑫　職員研修の実施状況

・研修の実施状況

【医療安全講習会】

２回（全職員対象）

【職種・部署別】

新採用職員ガイダンス：1回、新採用看護師研修：2回

看護師採用時研修：e-learning、看護助手採用時研修：e-learning 、

看護助手研修：1回、静脈注射院内認定看護師研修：e-learning

新採用・中途採用職員（看護部職員以外）：e-learning

看護職員（育休復帰者）：e-learning

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者　令和5年2月24日　2022年度特定機能病院管理者研修（継続5時間）

医療安全管理責任者　令和5年2月24日　2022年度特定機能病院管理者研修（継続5時間）

医薬品安全管理責任者　令和5年2月3日　2022年度特定機能病院管理者研修（継続5時間）

医療機器安全管理責任者　令和5年2月3日　2022年度特定機能病院管理者研修（継続5時間）

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

令和元年６月に日本医療機能評価機構の病院機能評価　「一般病院３　〈3rdG:Ver.2.0〉」を受審した。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

本院のホームページに認定証を掲載し、日本医療機能評価機構のホームページに掲載されている審査結果が閲覧できるようリンクを貼っている。

・評価を踏まえ講じた措置

Ｃ評価とされた10項目は改善報告を行い令和２年９月１８日及び令和３年６月２９日に再審査を受審して令和３年７月３０日付けで「一般病院３　〈３rdG:Ver.2.0〉」の認定を受けた。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第７条の２の２第１項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・ 基準の主な内容 １．医師免許を有している者 ２．医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 ３．病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 ４．本学及び本院の理念に基づいた病院運営を遂行できる者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 大学HPに公表

規則第７条の３第１項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無

・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ）
・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ）
・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ）
・ 公表の方法

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	特別の関係
山本　清二	浜松医科大学理事		医学部附属病院長候補者選考会議規程第３条第１号に基づく学長が指名する理事又は副学長	有・無
渡邉　裕司	浜松医科大学理事	○	医学部附属病院長候補者選考会議規程第３条第１号に基づく学長が指名する理事又は副学長	有・無
須田　隆文	浜松医科大学 医学部内科学第二講座教授		医学部附属病院長候補者選考会議規程第３条第２号に基づく教授及び准教授で構成される会議からの選出	有・無
堀田　喜裕	浜松医科大学 医学部眼科学講座教授		医学部附属病院長候補者選考会議規程第３条第３号に基づく病院運営企画室会議からの選出	有・無

紀平　幸一	静岡県医師会会長		医学部附属病院長候補者選考会議規程第3条第4号に基づく学長が委嘱する学外有識者 医療・保健・福祉全般に豊富な知見を有しているため	有・(無)
御室　健一郎	浜松いわた信用金庫会長		医学部附属病院長候補者選考会議規程第3条第4号に基づく学長が委嘱する学外有識者 法人経営や地域の経済・社会について豊富な知見を有しているため	有・(無)
毛利　　博	静岡県病院協会 会長		医学部附属病院長候補者選考会議規程第3条第4号に基づく学長が委嘱する学外有識者 医療・保健・福祉全般に豊富な知見を有しているため	有・(無)

規則第９条の２３第１項及び第２項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無

・合議体の主要な審議内容
病院運営における中期目標、中期計画に関する事項（進捗状況のモニタリングを含む。）
病院予算、業務実績報告に関する事項
その他病院運営に関する事項

・審議の概要の従業者への周知状況
診療科長会議で報告を行っている。院内ホームページに議事内容を掲載している。

・合議体に係る内部規程の公表の有無（　有・無　）
・公表の方法

・外部有識者からの意見聴取の有無（　有・無　）

合議体の委員名簿

氏名	委員長 （○を付す）	職種	役職
松山　幸弘	○	医師	病院長
堀田　喜裕		医師	副病院長（渉外・広報担当）
須田　隆文		医師	副病院長（教育・研修担当）
中島　芳樹		医師	副病院長（運営・管理担当）
竹内　裕也		医師	副病院長（リスクマネジメント担当）
佐々木菜名代		看護師	副病院長（患者サービス担当）
杉本　健		医師	第一内科主任診療科長
前川　裕一郎		医師	第三内科主任診療科長
椎谷　紀彦		医師	第一外科主任診療科長
黒住　和彦		医師	脳神経外科診療科長
三宅　秀明		医師	泌尿器科診療科長
伊東　宏晃		医師	産科婦人科診療科長
五島　聡		医師	医療放射線安全管理室長
安田　日出夫		医師	医療福祉支援センター長
川上　純一		薬剤師	薬剤部長

増本　一真		歯科医師	歯科口腔外科診療科長
西村　敏信		事務	事務局次長（病院担当）

規則第１５条の４第１項第１号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限
・　管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（　有・無　） ・　公表の方法 ・　規程の主な内容 病院長は、病院の業務を総括する。 ・　管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割 副病院長（渉外・広報担当） 副病院長（教育・研修担当） 副病院長（運営・管理担当） 副病院長（リスクマネジメント担当） 副病院長（患者サービス担当） 病院長特別補佐（経営戦略担当） ・　病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況 毎年1回開催される以下の会議・勉強会・研修会等に職員を参加させ、 病院のマネジメントを担う人員の育成に努めている。 ・近畿・中部地区病院経営企画担当事務職員研修会 ・近畿・中部地区附属病院経営担当課長等会議 ・国立大学附属病院課長補佐級研修会 ・国立大学附属病院係長級研修会 ・国立大学附属病院経営分析ワークショップ ・国立大学附属病院若手職員勉強会

規則第１５条の４第１項第２号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無

・監査委員会の開催状況：年　2　回

・活動の主な内容：

本院の安全管理体制について外の委員も含めた委員で監査・評価を実施する。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ (有)・無　）

・委員名簿の公表の有無（ (有)・無　）

・委員の選定理由の公表の有無（ (有)・無　）

・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ (有)・無　）

・公表の方法：

病院ホームページにおいて公表している。

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
小島 崇宏	大阪Ａ＆Ｍ法律事務所	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・(無)	1
桑原 允嗣	静岡県立高等学校元副校長		医療を受ける者	有・(無)	2
大磯 義一郎	国立大学法人浜松医科大学		法律に関する識見を有する者	(有)・無	1
				有・無	
				有・無	
				有・無	

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第１５条の４第１項第３号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
・体制の整備状況及び活動内容 内部統制システム推進責任者（病院長）は、附属病院の業務における内部統制システム（法令等に適合するための体制及びその他業務の適正を確保するための体制）の整備及び運用を推進するとともに、その整備及び運用状況について、内部統制担当役員等に定期的に報告を行うものとしており、内部統制担当役員等は、内部統制上の重大な問題を発見し、又は報告を受けたときは、速やかに適切な対処を行うとともに、内部統制最高管理責任者（学長）及び内部統制統括管理責任者（理事（企画・評価担当））に報告し、併せて再発防止措置を講ずるものとしている。また、内部統制統括管理責任者から内部統制システムの運用状況が、定期的に役員会に報告され、内部統制システムの整備と継続的な見直しが行われている。 ・ 専門部署の設置の有無（ 有・無 ） ・ 内部規程の整備の有無（ 有・無 ） ・ 内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 本学ホームページにおいて公表

規則第１５条の４第１項第３号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況

国立大学法人法に基づき、大学法人の経営に関する重要事項を審議する機関として経営協議会を置いている。当協議会は、外部有識者の諮問会議の性質を有するもので、大学法人経営の大きなウエイトを占める附属病院の管理運営に関しても多くの意見・助言等を受けている。

・ 会議体の実施状況（　年 4 回　）

・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無 ）（　年 4 回　）

・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ）

・ 公表の方法

規程は公表していないが、運営の透明性を担保するため、協議会の開催状況、審議内容、外部委員の意見等を大学ホームページで公開している。

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人浜松医科大学経営協議会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長（〇を付す）	利害関係
今野　弘之	学長	〇	有
山本　清二	理事（教育・産学連携担当）		有
渡邉　裕司	理事（企画・評価担当）		有
河本　雅弘	理事（財務担当）		有
斉藤　薫	理事（経営担当）		有
松山　幸弘	副学長（病院担当）		有
岡部　比呂男	公益財団法人　浜松交響楽団理事長		無
猿田　享男	慶應義塾大学名誉教授		無
紀平　幸一	一般社団法人　静岡県医師会長		無
布村　幸彦	元　文部科学省高等教育局長		無
正木　治恵	千葉大学大学院看護学研究院教授		無
御室　健一郎	浜松磐田信用金庫会長		無
門田　守人	日本医学会連合会長		無

（注）　会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第１５条の４第１項第４号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有・無 ） ・通報件数（年　0　件） ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有・無 ） ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有・無 ） ・周知の方法 医療安全管理委員会、医療安全管理マニュアル、医療安全ポケットマニュアル、医療安全ニュース、病院ポータルサイト等において周知している。

（様式第 7）

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	(有)・無
・情報発信の方法、内容等の概要 （１）広報誌による情報発信 ①病院案内（年1回発行） ②「はんだ山の風」（年4回発行） ③医療福祉支援センター広報誌「かけはし」（年4回発行） （２）市民公開講座等による情報発信 ①　浜松医科大学主催「公開講座」 ②　浜松医科大学主催　静岡がん治療フォーラムを開催 ③　静岡肝疾患診療連携拠点病院主催で「市民公開講座」（年3回）を実施している。	

2　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	(有)・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 (1)緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、呼吸ケアサポートチーム、精神科リエゾンチーム、栄養サポートチームによるチーム医療を提供している。 (2)感染対策室、医療安全管理室、医療福祉支援センター（がん相談、肝疾患相談、難病相談、退院支援）等多職種が参加した診療・ケアの実施している。	